

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

楽水誌掲載主要文献リスト（戦後篇）作成にあたって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岩澤, 龍彦 メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/547

楽水誌掲載主要文献リスト（戦後篇） 作成にあたって

岩澤龍彦（13増大）

はじめに

楽水誌は明治39（1906）年創刊以来845号を発行しているが、残念なことにこれまで「総目次」のようなものは作られたことがない。刊行記録としては水産業界では最長の『水産界』（大日本水産会発行の水産総合月刊誌、明治20年代創刊）に次ぐ『楽水』でもあり、掲載された主要文献についてのリストを作れば有意義だと以前から考えていたところである。

このたび、楽水誌の昭和24（1949）年7月号（通巻番号欠）から平成26（2014）年1月発行の845号までに掲載された主要文献についてリストを作成することができた。なお、楽水誌が戦中・戦後の諸事情のため昭和19年2月で発行を中断して以後、復刊を始めたのは昭和24年7月号からだった。

楽水誌の性格

楽水誌は単なる同窓会誌ではなく、掲載文献は大学および楽水会の動きはもとより、わが国の戦後の水産業界の盛衰を如実に反映している。したがって、さまざまな面からこれらの文献を利活用できれば『楽水』の役割をいっそう果たすことになり、非常に意義があると確信する。

戦後復刊第1号である昭和24年7月号では、山田栄次（43養）氏が「教育と日本の再建」を掲載しているのが象徴的である。また、復刊2年目の昭和25年2月号には飯山太平（16漁）水産庁初代

長官が巻頭言を書き、同年5月号では高崎達之助（9製）後の通産大臣が巻頭言に「国際的視野と水産研究の問題」を、さらに同年9月号に家坂孝平（18漁）水産庁第2代長官が「重責を引受けて」を寄稿しているが、まさに当時トップクラスのわが国指導者である同窓達が堰を切ったように意見を開陳する場として再出発をしたことがわかる。

当時は戦後の混乱期で水産関係のメディアが乏しかったこともあり、楽水誌は水産界のオピニオン誌として重要な役割を果たしていたのである。

掲載記事に見る楽水会 大学および水産界等の動き

楽水会、大学および水産界等の動きを楽水誌掲載記事とともに、年代に沿って独断と偏見で概説する。

■ 昭和20年代 ■■■■■

昭和24年7月号から楽水誌復刊第1号が始まる。ここでは木下辰雄（12漁）楽水会会長が“「楽水」復刊の挨拶”を書き、この年の6月1日に発足した東京水産大学の松生義勝（16製）初代学長が“東京水産大学の発足”を寄稿している。

木下会長は苦難の戦争が終わったが、まだ混乱のなかにあり、『楽水』発行により会員の消息を集め、昔のように発展させ会員は水産発展の第一線に立って国家の復興に万全の努力を払いたいと檄を飛ばした。

また、松生学長は、水産講習所発足60年にして大学になったのは時代の流れであるとして、「恐

れるところは表面的な事象に眩んで自家本来の面目や使命を見失ってはいけない、理想を認識把握して、耀く60年の伝統をますます尊重しつつ日々新たに不断の向上を図り現実を調整充実していかねば……」と語った。

昭和23（1948）年7月、水産庁設置法が公布施行されたことに伴い、それまでの農林省水産局が水産庁に格上げされ、初代長官に飯山太平（16漁）が就任した。

昭和24（1949）年6月：天皇陛下が久里浜の東京水産大学を行幸啓

昭和25（1950）年5月：漁業法公布

同年6月：8海区水産研究所発足

昭和26（1951）年9月：水産資源保護法公布

昭和27（1952）年：マッカーサーラインが撤廃されわが国は遠洋漁業国とし復活、全漁連設立、母船式マグロ漁業、母船式サケマス漁業再開、北洋捕鯨再開

昭和28（1953）年3月：水産講習所は学生が全員卒業したので閉所

同年5月：天皇・皇后両陛下が小湊実験場を行幸啓

■昭和30年代 ■■■■■

世界を視野に置いた漁場拡大に関する論文が多くなり、以後、〇〇国の水産事情や▽▽国漁業紀行といった報告文は現在まで頻繁に投稿されており、楽水誌の名物の一つを形成している。

米国のビキニ水爆実験の被害者としての観点から、あるいは関係調査報告等の文献が当時の水産界に与えた重大性を物語っている。

また、わが国の経済発展に伴って拡大してきた環境汚染問題は、水産業界としては産業排水等による漁場汚濁被害等が深刻化していることがさまざまな報告等で発表されるようになった。

昭和30（1955）年1月：東京水産大学が品川に移転し、同時に楽水会事務局も大学構内に移った。

昭和31（1956）年5月：日ソ漁業条約調印
同年10月：海鷹丸が観測船宗谷の随伴船として南極航海へ出港

昭和33（1958）年3月：藤田 正（29養）氏が『楽水』603号に“今の「楽水」は何号か”を寄稿して戦中・戦後の欠番で発行していた期間を通しての通巻番号を解説している。



天然甘えび・くじらで明日の活力を引き出そう

安心安全な食材・加工品を提供する

スクーター株式会社

代表取締役 樋口 信行（8製大）

本社：〒104-0054 東京都中央区勝どき2丁目18-1

（黎明スカイレジタル西館3F）

PHONE 03-5546-1246 FAX 03-5546-1250

■ 昭和40年代 ■■■■■

わが国の遠洋漁船は世界中の海洋に展開するようになり、世界各地での操業に関する報告が発表されるようになり、南極オキアミ開発まで始まったことがわかる。また、水産加工技術の発達に関係して、食品添加物に関する問題についての報告が目につくようになる。

一方で、沿岸漁業では栽培漁業という概念の導入により沿岸漁業資源の育成強化や沿岸漁業構造改善が実施され、さらに、遊漁との摩擦問題も浮上してきた。これらに関する報告が掲載されるようになった。

この頃から、海外漁業協力事業が沿岸漁業国への入漁の見返りとしてだけでなく、ODA実施の一つの分野としての重要性もあってさまざまな報告がされるようになった。

昭和40（1965）年6月：日韓漁業条約調印、これに伴って李ライン問題解消

昭和44（1969）年：大学紛争

昭和45（1970）年：水質汚防止法・海洋汚染防止法公布

同年4月：雲鷹丸の復元整備竣工式が挙行され雲鷹丸の功績が改めて見直されるとともにその保存の重要性が再認識された

昭和46（1971）年：楽水会創立50周年

同年5月：海洋水産資源開発促進法公布

同年7月：海洋水産資源開発センター設立

昭和47（1972）年：快鷹丸遭難記念碑が復元し、この後、韓国迎日湾九万洞村等の関係者との交流や記念碑参拝が始まり、関係する報告が掲載されるようになる

同年：わが国の漁業生産量が1,000万トンに達した。

昭和48（1973）年6月：海外漁業協力財団設立

同年：各県の栽培漁業センター設置始まる

■ 昭和50年代 ■■■■■

かねて沿岸国が主張してきた200カイリ経済水域が国連海洋法会議で議論され、200カイリ経済水域設定が大勢を占めるようになったため、遠洋漁業国であるわが国漁業の対応策等について意見報告が掲載されるようになった。

昭和51（1976）年5月：FAO主催水産増養殖国際会議が京都で開催される

同年9月：中小漁業構造改善基本方針答申

昭和52（1977）年：楽水発刊700号を記念して論文が募集されたが、折しもわが国も200カイリ経済水域を承認することになり、楽水誌上でさまざまな議論が交わされた

昭和55（1980）年7月：鈴木善幸（37養）氏が内閣総理大臣に就任され、鈴木大先輩を巡る特集等が華々しく掲載された

昭和57（1982）年7月：第34回IWC総会で商業捕鯨の3年後以降全面禁止を採択（日本は異議申立て）

昭和59（1984）年：第1次栽培漁業基本方針公布

■ 昭和60年代 ■■■■■

昭和60（1985）年商業捕鯨の撤退が決定し、昭和63（1988）年以降降停止となる。昭和62（1987）年7月号では「南氷洋母船式捕鯨の栄光と苦悩」という特集を発表した。

昭和62年11月：調査捕鯨船（母船1隻、キャッチャー2隻）出港

同年4月：大学は水産学部の7学科を4学科（海洋生産学科、資源育成学科、食品生産学科、資源管理学科）に改組

昭和63年：大学が創立100周年を迎えた。742, 743, 744号では創立100周年関連特集を掲載した

昭和63年1月：南氷洋調査捕鯨開始

同年6月：母船式サケマス漁最後の船団（母船1隻、独航船43隻）函館港を出航

■ 平成以後 ■■■■■

平成元（1989）年745号に創立百周年に関するカラーグラビアを掲載し、楽水特集「第2世紀目を迎えた東京水産大学一学科の現状と将来」として、関係の教授や会員からの説明や提案、期待等の議論が展開された。この特集は平成3（1991）年まで継続した。

同年12月国連総会の決定を受けて公海での大規模流し網操業は平成4（1992）年12月までにモラトリアムとすることになった。

平成7（1995）年、阪神淡路大震災が起これ義捐金募集等が行われた。

平成8（1996）年、楽水会創立75周年行事が開催されて関連の記事がその前後号の紙面を飾った。

同年10月の776号は楽水会75周年特別記念号で「母校に望む将来像」として、43人の会員の意見を

掲載したほか、「楽水会年表」に明治21（1888）年から平成8（1996）年までの楽水会設立（1921年）以前からの推移を丹念にまとめている。

平成10（1998）年12月：雲鷹丸が登録有形文化財に指定される

平成14（2002）年10月：楽水800号で会誌の歩み特集し、楽水会年表を作成する

平成15（2003）年：東京海洋大学が発足し、これに関連して国立大学改革や大学統合問題に関係する議論を展開した

平成16（2004）年には、楽水会館が完成して楽水会から大学へ寄贈された。関連する特集が組まれた

平成21（2009）年6月：楽水会メールマガジン第1号発行

同年10月：天皇・皇后両陛下をお迎えして「第29回全国豊かな海づくり大会」が大学で開催される

同年11月：楽水会ランチ・セミナー第1回開催

平成23（2011）年：東日本大震災が起り、楽水誌は会員と被災者をつなげ、救済募金を実施するツールの役割を果たした

平成24（2012）年4月1日：一般社団法人楽水会登記、定款変更

平成25（2013）年4月：準会員制度により新入生を準会員として入会させる

同年6月：雲鷹丸シンポジウム開催

同年12月：「水産について考える会」（セミナー）は竹内正一（7漁大）東京水産大学名誉教授が主宰して100回まで行われていたが、101回からは楽水会が主宰することになる

このように分化してきた経過について以下に概要を示すが、このたびの「主要文献リスト」として採用したのは、現在の①②③④⑤⑬の項目にある記事や文献とした。

○昭和24（1949）年復刊当初の頃は、①「項目なし」、②「母校だより」だった。

○昭和36（1961）年からは、上記①②に「会報」（事務局からの連絡）がついたものがあった。

○昭和46（1971）年からは、上記①②に「会員だより」、「会務報告」が追加された。

○昭和48（1973）年からは、上記①②に「楽水だより」（現在の「同窓だより」のような内容）と「文藻」がついたものがあった。

○昭和55（1980）年、712号からは「本棚」がついたものがあった。

○昭和61（1986）年、733号からは「同窓の顔」「同窓だより」「学級だより」「海鳴り」（「文藻」改め）が登場した。

○平成4（1992）年、757号からは「New Wave」が登場した。

○平成10（1998）年、781号からは「楽水紀要」が登場した。

○平成10（1998）年、782号からは「Mail Box」が登場した。

○平成18（2006）年、814号からは「楽水だより」が登場した。

○825号からは、「私の職場」「クラブ活動の今」が登場した。

○829号からは「ランチ・セミナー」が登場した。

おわりに

この資料をまとめる作業にあたって、過去の楽水誌の目次を改めて一つ一つ確認する機会に恵まれましたが、これまで全く知らなかった事柄がいくつも発見されて、引き込まれる思いをすることもありました。たぶん、読者の皆様にもこの文献リストを活用して楽水会や大学あるいは水産界の過去の動きを改めて知ることができ、また新しい発見をされる方も多いと思います。

この文献リストが宝の山への道標となって、「温故知新」で将来の糧として過去の貴重な情報が活用されれば幸甚です。

楽水誌の掲載記事項目分類と文献リストへの採用について

楽水誌の目次の項目は、昭和24年では、①項目なし、②「母校だより」の2種類だったが、現在では、①「巻頭言」、②「楽水紀要」、③「New Wave」、④「ランチ・セミナー」、⑤「海鳴り」、⑥「母校だより」、⑦「楽水だより」、⑧「ほんだな」、⑨「同窓の顔」、⑩「同窓だより・学級だより」、⑪「私の職場」、⑫「クラブ活動の今」、⑬「Mail Box」に細分されている。

楽水誌掲載主要文献リスト (戦後篇)

目次一覧

(No. 567 ~ 845)

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
845	2014.01.	New Wave	宮城 亜紀	54海洋	メバルの腹腔内に挿入したピンガの送波音圧の変化		
			所 英樹	25食大	くじらの赤肉に含まれるバレニンの抗疲労効果について		
		ランチ・セミナー	齋田 育秀	21製大	映画の中の食文化—水産物編—		
			森 榮	11漁大	「海洋立国・日本」の展望と課題 (講演要旨)		
		海鳴り	為石 日出生	20漁大	第1回宇宙開発利用大賞で内閣総理大臣賞を受賞して		
			大場 俊雄	3増大	練習船遭難を伝えた「京城特電」		
			洪 継謙	國立臺灣海洋大學水産養殖学科	台湾留学生の震災被災地でのボランティア報告		
						温故知新	
		Mail Box	尾崎 芳明	8 漁大	思い出つづり No. 2		
			岩澤 龍彦	13増大	与論島紀行		
			磯田 知	食品安全管理2年	船で世界一周パン紀行		
			渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより③⑥~③⑧		
844	2013.10.	巻頭言	井貫 晴介	23増大	夢ある話? ほら話?		
		無分類			雲鷹丸シンポジウム 第1回 雲鷹丸の現状と保存		
			大塚 一志	2 漁大	雲鷹丸の建造, 活躍, そして品川キャンパスへの移転		
			小堀 信幸	船の科学館調査役	雲鷹丸保存上の問題点		
		小川 廣男	13修	雲鷹丸の保存に向けて			
		New Wave	小坂 康之	49食品	最も歴史ある水産高校の新たな挑戦		
	2013.07.	ランチ・セミナー	川本 太郎	32海生	海外まき網漁業と FADs 操業, メバチ混獲削減の取組み—社会で活躍するためのヒント—		
843	2013.10.	海鳴り	竹内 正一	7 漁大	「漁業について考える会」から「水産について考える会-II」まで		
			小川 元	40管理	東日本大震災時を生き延びたサケ		
			本江 喜久雄	25増大	国会図書館ホームページ「電子図書館」で知る水産講習所—ソカヨウ節と快鷹丸殉難歌—		
			大場 俊雄	3 増大	在韓新聞が報じた韓海出漁状況		
			岩澤 龍彦	13増大	気仙沼探訪記		
			藤田 滋	20漁大	気仙沼探訪記		
			Mail Box	尾崎 芳明	8 漁大	思い出つづり	
				中野 俊樹	24修	若いうちに海外で暮らしてみよう—カナダで研究してみよう—	
		松橋 鐵治郎		1 製大	最近読んだ快哉の本, はたまた凄い本: 水産製造学と海藻化学工業の新知識		
		石原 元		23増大	JICA ローン・イラク国シーラインプロジェクト		
					渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより③③~③⑤
		843	2013.07.	巻頭言	上野 清治	18製大	海に国境なし
無分類	太田 尚樹			13漁大	楽水会記念講演 400年前海を渡った侍たちの雄途—一月の浦からローマへ—		
	楽水会				雲鷹丸シンポジウムの概要 雲鷹丸の現状と保存		
New Wave	有原 久史			海3政策	離島漁業における流通条件の不利性に関する研究		
ランチ・セミナー	山川 紘			13増大	沿岸浅海環境の悪化と水産資源—アワビ産業を事例として		
	井上 潔			20増大	独立行政法人 水産総合研究所センターの紹介		
海鳴り	佐藤 力生			22増大	漁業に市場原理主義を持ち込もうとする動き		
	須能 邦雄			16漁大	衆議院予算委員会の公聴会での意見陳述人として		
	大場 俊雄			3 増大	快鷹丸の竣工と初航		
Mail Box	石川 拓			海洋環境4年	デンマークの学童保育		
	佐々木 良			20増大	三陸のホヤ養殖復活への歩み		
	齊藤 道雄			50海洋	幸運のかけら—皆さんからいただいた76分間のたからもの—		
	渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより③⑩~③⑫				
842	2013.04.	巻頭言	石橋 正	49遠	日本の「水産」はどうなっていくのか		
		無分類	渡辺 浩幹	30増殖	私が国連専門機関職員になった経緯と FAO 水産養殖局の活動概要		

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
842	2013.04.	無分類	大倉 史郎, 小倉 通男, 片山勝彦, 村岡 英雄, 矢倉 季治	51漁	座談会 農林省第一水産講習所漁業科51回生有志座談会『激動期の思い出』
		New Wave	東京海洋大学HP より		凍結細胞から生きた魚の作出が可能に一絶滅危惧魚種の永久保存が実用レベルで可能に一
		ランチ・セミナー	大塚 一志	2 漁大	雲鷹丸の歴史
		海鳴り	永延 幹男	23製大	憧憬の水平線へ 武富栄一船長: 快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (6)
			小野 延雄	国立極地研究所名誉教授	憧憬の水平線へ 武富栄一船長: 快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (6)
			大場 俊雄	3 増大	快鷹丸進水式を報じた新聞発行地
		Mail Box	齊藤 道雄	50海洋	第85回記念選抜高等学校野球大会21世紀枠選抜について
			嶋田 和義	19漁大	42年ぶりに母校をたずねました
			小川 太輝	海5 環境	ヘブリディーズ諸島のクジラとイルカの調査に参加して
渡辺 浩幹	30増殖		FAO だより⑳～㉑		
841	2013.01.	無分類			新春特集
					さかなクン 楽水会入会記念特別座談会
		New Wave	駱 盧佳	45修	魚肉タンパク質ゲルの水分保持機構
		ランチ・セミナー	水本 正雄	10製大	我が祖国・日本の若者たちへ
			香月 龍太郎	特会	海外雄飛のすすめ
		海鳴り	永延 幹男	23製大	憧憬の水平線へ 武富栄一船長: 快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (5)
			小野 延男	国立極地研究所名誉教授	憧憬の水平線へ 武富栄一船長: 快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (5)
			大場 俊雄	3 増大	快鷹丸の進水式を伝えた新聞記事
			岩重 慶一	36修	投稿の結論 これまでのメコン川イルカ保護活動をふり返り, カンボジアに水族館を!
					温故知新
		Mail Box	飯山 一伸	17製大	天野慶之元学長と鈴木善幸元総理の映像記録を you tube にアップロードしました
			廣瀬 亜久里	海2 環境	静岡県楽水会に参加して感じたこと
			渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより㉒～㉓
池田 恵美子	NPO 法人安房		水産伝習所初代所長 関沢明清の書簡発見に寄せて		
840	2012.10.	巻頭言	荒川 敏久	24増大	長崎県の水産行政～技術職水産部長の自省～
		New Wave	三島 由夏	博士前期課程2年	イルカスピーカーの開発
		ランチ・セミナー	高橋 三善	11製大	友だち付き合いの苦手な若者たちー若者たちのソーシャルスキルの今ー
			木村 政昭	11漁大	首都直下型地震と富士山大噴火の可能性について
		海鳴り	永延 幹男	23製大	憧憬の水平線へ 武富栄一船長: 快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (4)
			小野 延男	国立極地研究所名誉教授	憧憬の水平線へ 武富栄一船長: 快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (4)
			大場 俊雄	3 増大	海鷹丸ハワイ島ヒロ港寄港
			本江 喜久雄	25増大	水産歌に見る時代と作詞者・作曲者の思いーその2ー
					温故知新
		Mail Box	井上 太喜	54海洋	LED でサンマは獲れる!! 太喜丸から始まった実証化の歴史
			岩澤 龍彦	13増大	小笠原紀行
渡辺 浩幹	30増殖		FAO だより㉔～㉕		
藤田 滋	20漁大		気仙沼の復興と再生を祈る (気仙沼改造論)		
839	2012.07.	巻頭言	三宅 哲夫	18製大	東日本大震災と漁船保険
		無分類			楽水会記念講演会概要
			加藤 泰浩	東京大学教授	太平洋のレアアース泥が日本を救う
			鶴我 佳代子	先端科学技術研究センター 准教授	海底探査「静」から「動」へ
			須能 邦雄	16漁大	生かされし者として (5・最終回)
		楽水紀要	佐藤 力生	22増大	今こそ日本の進路を考える 日本型漁業管理に学ぶ経済成長絶対主義の克服
		New Wave	陸 君	36修	閉鎖生態系循環式養殖システムにおけるスピリリナーナルティラピア間の食物連鎖構築

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
839	2012.07.	ランチ・セミナー	山村 和夫	18漁大	知って損はない鯨の話	
			山内 愛子	50管理	海洋の生物多様性保全と水産物-グローバルな視点から	
			海鳴り	永延 幹男	23製大	憧憬の水平線へ 武富栄一船長：快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (3)
				小野 延男	国立極地研究所名誉教授	憧憬の水平線へ 武富栄一船長：快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (3)
				大場 俊雄	3増大	海鷹丸 ホノルル港初寄港
		岩重 慶一	36修	メコン川イルカ保護流域村落の農水の実態と今後の展開方向 イルカ調査保護管理と地域村落の経済的背景		
		Mail Box	逸見 真三	11製大	温故知新 「たか同人会」吟行記	
			於本 誉	海・資源 4年	在京岩手親睦会を開催しました	
			渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより⑱～⑳	
			嶋津 靖彦	14増大	SENSEI MATSUMOTO の人物記	
永田 雅一	25漁大		水族館を職業に選んで			
838	2012.04.	巻頭言	荻野 洗太郎	17増大	生かされし者として (4)	
		無分類	須能 邦雄	16漁大	「楽水」106年838号の歩み	
		楽水紀要	岩澤 龍彦	13増大	アマモマーメイドプロジェクト	
		New Wave	小坂 康之	49食品	水産海洋学・環境問題の先覚 宇田道隆の足跡と素顔	
		ランチ・セミナー	大塚 一志	2漁大	世界一受けたい海の授業 豊かな森が作る豊かな海	
			永田 雅一	25漁大	東日本大震災からの復興に向けて	
			小野寺 五典	31海工	憧憬の水平線へ 武富栄一船長：快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (2)	
		海鳴り	永延 幹男	23製大	憧憬の水平線へ 武富栄一船長：快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (2)	
			小野 延男	(国立極地研究所名誉教授)	水産経営と福祉企業 東京水産大学卒業より54年を振り返って	
			上坂 道磨	6漁大	水産歌に見る時代と作詞者・作曲者の思い	
			本江 喜久雄	25増大	戦前の北米モンレー湾の日本人漁業-「白鷹丸」連載に寄せて	
			池原 信玄	10漁大	白鷹丸 ハワイ島ヒロ港寄港	
			Mail Box	林 晋也	52管理	水産業界紙の記者から転職した漁師
				川野辺 素一	46育成	楽水会に入会して
		細窪 迅		35海工	気象予報士受験記	
		千葉 瑞萌	海・資源 4年	第18回ランチ・セミナーの感想		
高坂 浩亮	海・資源 3年	第19回ランチ・セミナーの感想				
関 夏海	海・資源 2年	冬季うみがめ研究会ゼミ				
渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより⑭～⑰				
837	2012.01.	巻頭言	重 義行	22漁大	東日本大震災に水産健児魂を	
		無分類	須能 邦雄	17漁大	生かされし者として (3)	
		ランチ・セミナー	柄山 正樹	22製大	中学校・高等学校理科・水産教師を目指す海洋大学生諸君へ	
		海鳴り	永延 幹男	23製大	憧憬の水平線へ 武富栄一船長：快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (1)	
			小野 延男	(国立極地研究所名誉教授)	憧憬の水平線へ 武富栄一船長：快鳳丸両極海地球一周航海の史的考察 (1)	
			大場 俊雄	3増大	モンレー港外に沖撃りした白鷹丸-市立三笠高校食物調理科の挑戦-	
			Mail Box	植井 真	41食品	道立高校から市立高校への転換
		岸野 美奈		政策文化 2年	韓国留学体験記	
		羽熊 広太		食品安全管理専攻修了生	ツチクジラの解体と加工フィールドワーク体験記	
		吉 孝也		3漁大	雲鷹丸最後の乗船学生 (?)	
		林 英一		10製大	シルクロードの旅と気仙沼での写真展	
		渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより⑫～⑬		
		鈴木 美穂	教育支援財団事務局	大学ボランティア実施レポート		
836	2011.10.	巻頭言	松里 壽彦	15増大	人こそすべて	
		無分類	竹内 正一	7漁大	小笠原諸島 世界自然遺産登録記念特集 まえがき	
			村井 衛	18増大	おめでとう！ 世界自然遺産登録	
			山口 邦久	35漁工	世界遺産に登録された小笠原では	
			諫山 明子	28食生	小笠原のアオウミガメ	
			堀越 晴美	28食生	ネコとともに暮らす小笠原	
			清水 良一	29食生	海に愛されて	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
836	2011.10.	無分類	永阪 彰	35漁工	「世界自然遺産に登録された小笠原」と私
			須能 邦雄	16漁大	生かさし者として (2)
		New Wave	熊沢 泰生	21博	網漁具の省力・省エネに関する研究
		ランチ・セミナー	和久井 遥	56環境	観測船という職場-みらいを支えるプロ集団
			神崎 正哉	38海工	水大卒 TOEIC 満点講師の軌跡
		海鳴り	田中 幸二	15増大	海王丸体験航海記
			千葉 胤英	53漁	イーゼス艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事件を思考する
			大場 俊雄	3 増大	白鷹丸 再び米国土へ
		Mail Box	川井 敏正	4 漁大	台風の中を壊滅した被災地・石巻を訪問
			土屋 光正	15製大	カナダから見聞した東日本大震災
			村形 康太	海3 政策	覚書一於ロンドン
			小川 太輝	環境4 年	Ellingsen Seafood での研修報告
			渡辺 浩幹	30増殖	FAO だより⑧~⑩
835	2011.07.	巻頭言	石川 賢廣	11増大	太平洋小島嶼国との関係
無分類					天皇后両陛下が越中島キャンパスにお出になりました
					楽水会記念講演会概要
		楽水会			クニマスの生存確認について さかなクン (客員教授)
		水谷 宏	10増大		東日本大震災によせて まえがき
		岡本 信明	25漁大		東日本大震災によせて まえがき
					東日本大震災に伴う水産業の復旧・復興に関する提言
		大浦 佳代	政策学専攻 M2		菅原 茂・気仙沼市長に聞く
		須能 邦雄	16漁大		生かさし者として (1)
		大橋 英雄	特会		福島原発事故を理解するために
		田村 直司	37漁生		東日本大震災に対する救援物資のお礼について
		山川 紘	13増大		南三陸町を訪問して 自分自身の2011年3月11日
		岡野 利之	44海洋		東日本大震災にかかわる釜石からの手紙
		戸枝 宏伝	海洋生命科学専攻 M2		がまだせ気仙沼! 雲仙元気直送プロジェクト 雲仙を気仙沼につなぐ絆
		小林 竜也	海事システム工学科 4年		東日本大震災 OB 会お見舞チーム報告
		内田 康三	20漁大		今回の地震による大津波に対して思うこと
		石原 昭治	17製大		福島原発事故について思うこと
		信田 臣一	16製大		楽水会大震災水産復興支援会の創設を提案
		藤田 滋	20漁大		会員による東日本大震災被害報告のまとめ
		工藤 貴史	41管理		『東日本大震災と漁業・漁村の再建方策』の紹介
	ランチ・セミナー	為石 日出生	20漁大		漁業情報とその活用
		渡辺 法華	6 漁大		水産学士から弁護士へ
	海鳴り	谷口 徳玉	3 漁大		まぐろの「オッカケ」50年
		大場 俊雄	3 増大		白鷹丸 ホノルル港外錨泊
	Mail Box	渡辺 浩幹	30増殖		FAO だより⑦
		田中 省吾	3 漁大		広島原発っ子が東日本大震災に思う
		加藤 都子	47海洋		笑顔がすてきな2人の漁師さん
	834	2011.04.	巻頭言	垣添 直也	9 製大
楽水紀要		佐々木 剛	38養殖		東京海洋大学水圏環境リテラシー教育推進プログラムの成果とこれから 国民の「総合的な海洋の理解」促進を目指して
					トウゴロイワシ科魚類の性決定・性分化メカニズムに関する研究
ランチ・セミナー	広野 洋介	13増大		米国・中南米・アフリカでの我が人生と「Biofloc Technology」の紹介	
	岩松 浩子			中部講堂前の銅像 その2 伊谷以知二郎水産講習所第三代所長	
	小野寺 五典	31海工		これからの日本外交がとるべき道は	
海鳴り	河野 博	27漁大		クニマスの再発見	
	吉 孝也	3 漁大		ミニ楽水同窓会	
	小川 太輝	海5 環境		ミニ楽水同窓会	
	岩野 奈緒	海6 環境		ミニ楽水同窓会	
	大場 俊雄	3 増大		サンビードロ港における白鷹丸の雄姿 (vol. 2)	
	雲鷹丸保存委員会			雲鷹丸の保存について	
Mail Box	河野 えり子	32増殖		観音崎自然博物館ボランティア研修旅行 (館山)	
	本多 秀吾	海2 資源		就職活動をするうえで	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
834	2011.04.	Mail Box	渡辺 浩幹 松永 貞昭	30増殖 2 漁大	FAO だより③～⑥ 非常時の対応と教訓
833	2011.01.	薬水紀要	松橋 鐵次郎	1 製大	寒天とカラギーナンのコロイド滴定について
		New Wave	ロイケ・イワン・ モントラル	42修	インドネシア産海藻からのカラギーナン抽出
		ランチ・セミナー	田代 有里	40食品	インドネシア産海藻からのカラギーナン抽出
			中村 千穂	51環境	水族館の仕事
		海鳴り	鈴木 将史	48環境	飛鳥にて世界8周
			安部 義孝	12増大	水族館は自然体験の教師
			渥美 敏	24増大	若き漁業後継者育成に携わって
Mail Box	大場 俊雄	3 製大	白鷹丸 米国本土初寄港		
Mail Box	渡辺 浩幹	30増殖	FAO 便り		
832	2010.10.	New Wave	溝口 弘泰	47海洋	漁船における「省エネルギー」を進めるために
		ランチ・セミナー	重竹 誠二	53海洋	深海からのメッセージ
		海鳴り	池田 敏夫	21製大	ヨットに導かれた人生
			大場 俊雄	3 増大	雲鷹丸 ホノルル港入港
		Mail Box	上條 清光	8 漁大	水産伝習所はどこ？
			長谷川 昇一	51製	水産製51 H22年度クラス会で話題に上った特殊な学生生活
			岩澤 龍彦	13増大	館山実習今昔物語
齋藤 啓次郎	43海洋	これからの水産業界に求められるもの			
井沢 紀幸	35食工	南極へ 海鷹丸出航			
831	2010.07.	無分類			薬水会記念講演会
			島田 浩二	海洋環境学科准教授	最近の東京海洋大学学内研究の成果について 北極海から見た地球温暖化
		New Wave	大迫 一史	特会	水産におけるゼロエミッション
			田代 有里	40食品	最近の食品レオロジーの研究
			竹内 裕	32食工	サバにマグロを産ませる!? 代理親技術の開発
			井上 清和	31養殖	漁船漁業の構造改革プロジェクトについて
			小林 孝幸	45育成	生物飼料ワムシの効率的な培養法と環境配慮型生産に向けて
		ランチ・セミナー	小林 浩	17製大	私の人生観 日本ハム株式会社社長
			岩松 浩子		松原新之助 水産講習所長—中部講堂前の銅像 その1
		海鳴り	大場 俊雄	3 増大	雲鷹丸 ハワイ寄港準備
			栗坂 誠一	6 漁大	カッター境漕
Mail Box	岩崎 孝夫	11漁大	「生体肝移植手術」体験談 後編		
	上原 良吾	6 増大	国立市で桜の花見と師弟交遊 野村元学長と関口国立市長		
830	2010.04.	New Wave	大串 伸吾	45修	遊漁者参画による溪流釣り場管理に関する研究
		ランチ・セミナー	小野寺 五典	31海工	世界へ羽ばたく後輩達へ 外交最前線から
			清水 雄輔	11漁大	私の経営観 真のリーダーとは
		海鳴り	永延 幹男	23製大	カナダ漁業発展史の日系バイオニアと私 永延虎八郎 1894 (明治27年) 年水産伝習所卒業
		Mail Box	岩崎 孝夫	11漁大	「生体肝移植手術」体験談
829	2010.01.	無分類			第29回全国豊かな海づくり大会
					地球の気候変動と海洋炭素循環のモデリング
		New Wave	近本 めぐみ	47海洋	地球の気候変動と海洋炭素循環のモデリング
		ランチ・セミナー	森 榮	11漁大	「坂本龍馬」に学ぶ若者の生き方 第1回ランチ・セミナーを開催して
Mail Box	前田 尚	10増大	まだまだ現役 2台のピアノの物語		
828	2009.10.	無分類			薬水会記念講演会 パネルディスカッション
					鯨から見た我が国の国際漁業の方向
		New Wave	佐藤 敦一	43育成	ドコサヘキサエン酸 (DHA) に着目したマガレイの健苗性向上
		海鳴り	岩重 慶一	36修	メコン川イルカと地域資源の研究, メコン川の地域開発における「ナショナルトラスト」—受容の可能性
森 榮	11漁大		「軍艦島」との「今昔物語」		
827	2009.07.	無分類	森下 丈二	水産庁資源管理部参事官	薬水会記念講演会 基調講演 我が国水産業の国際戦略—IWC 国際捕鯨委員会からの視点—
			New Wave	天貝 一花	52食品
		海鳴り	岩重 慶一	36修	メコン川イルカと地域資源の研究, カンボジアのイルカ保護と自然観光の両立をめざして
			内田 圭一	43海洋	NOAA, Northeast Fisheries Science Center のトロール調査に参加して
			井上 丈生	46海洋	漁具屋の僕にできること アメリカでの5年間をふり返って

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
827	2009.07.	Mail Box	大塚 一志	2 漁大	雲鷹丸就航百周年にあたってその活躍を回顧する
			中村 善彦	10漁大	雲鷹丸就航百周年にあたってその活躍を回顧する
826	2009.04.	New Wave	石田 拓也	環境保全学専攻	ダイビング事業者によるダイビングスポット管理に関する研究
		海鳴り	熊澤 泰生	応用生命学専攻	ロシア連邦ウラジオストクの漁業指導者教育
			稲田 博史	25漁大	漁業におけるエコ・ハーモニックな技術革新と意識変革
		Mail Box	勝田 千恵美	33食工	「動物の命」に対する責任とは
825	2009.01.	薬水紀要	井上 潔	20増大	私の研究人生 魚介類疾病の被害低減をめざして
		New Wave	二見 邦彦	46育成	コイのがん遺伝子からカンブリア爆発のメカニズムを探る
		海鳴り	薬水会		森田 実氏の海洋大学における講演記録 海と港からの新たな国づくり
		Mail Box	大塚 一志	2 漁大	海洋調査にも活躍した雲鷹丸 就航百周年に思う
824	2008.10.	無分類			薬水会記念講演会 パネルディスカッション 第2部 どうする？ 食の安全保障 食糧自給からの食品検査・流通、海洋基本法まで 2
			吉 孝也	3 漁大	カピタン吉 世界の魚屋五十年 最終回 ラスパルマスに来る
		New Wave	柄山 正樹	22製大	東京で開催されるオリンピック！ 国際化学オリンピック 日本大会2010
		海鳴り	薬水会		提言書 食糧自給から食品検査・流通、海洋基本法の将来に向けて
			内藤 靖彦	13漁大	見えない動物を追って
			須能 邦雄	16漁大	朝日新聞「私の視点」投稿欄末記-燃油高騰による漁業の実状
823	2008.07.	無分類			薬水会記念講演会 パネルディスカッション 第1部 どうする？ 食の安全保障 食糧自給からの食品検査・流通、海洋基本法まで
		New Wave	小野寺 宗仲	43食品	ワカメの成分および加工特性について
		海鳴り	森 榮	11漁大	母校での「特別講義」体験記
			千葉 胤英	53漁	“しらせ”終焉に際し、代替船“新しらせ”について提言
			内池 育男	1 漁大	私が見てきた反捕鯨の陰謀
			林 英一	10製大	中華人民共和国の地方漁業
		Mail Box	林 英一	10製大	合唱団コンサートのこと
822	2008.04.	無分類	吉 孝也	3 漁大	連載 カピタン吉 世界の魚屋五十年 第3回
		New Wave	今泉 智人	51海洋	イルカのソナーに学んだ魚群探知
		海鳴り	石井 勇	15漁大	財団法人福島県栽培漁業協会の業務と栽培漁業の現状と課題
		Mail Box	佐野 徳夫	1 増大	室井忠六君のタヒチ国コマンドメイ勲章叙勲に寄せて
821	2008.01.	無分類			薬水会記念講演会 パネルディスカッション 第2部 脱・資源小国-水産からメタンハイドレートまで-
			杉山 慎策	客員教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第15回海外研修報告
			吉 孝也	3 漁大	連載 カピタン吉 世界の魚屋五十年 第2回
		New Wave	工藤 貴史	41管理	漁業の多面的機能とその支援施策の課題
		海鳴り	羽野 誠司		薬水公開セミナー 南極第一次観測隊物語-海鷹丸の活躍(講談師 室井梅星)
			内田 忠男	48漁	本邦初めてのシャチ
820	2007.10.	無分類			薬水会記念講演会 パネルディスカッション 第1部 脱・資源小国-水産からメタンハイドレートまで-
			谷 伸一	内閣官房大陸棚調査 対策室内閣参事官	わが国の大陸棚-科学の力で「領土」を広げる
			吉 孝也	3 漁大	カピタン吉 世界の魚屋五十年 第1回
			早川 徹	15漁大	海外事情 水産業が斜陽産業？ どの国？ -海と火山と水河から、「魚・サケの輸出」
		New Wave	松成 宏之	49育成	海産魚類生産における食餌性タウリンの有効性
		海鳴り	橋場 末治	1 増大	鯨粕(肥料) 製造用鋳物の大釜(鯨釜) などについて
819	2007.07.	New Wave	田代 有里	40食品	食品のレオロジー的性質と咀嚼・嚥下の関係
		海鳴り	柄山 正樹	22製大	高校教育と大学教育の化学平衡
		Mail Box	上原 良吾	6 増大	国立市長に関口ひろし氏当選
			岩切 潤	5 漁大	佐々木星部長(49歳)の思い出
			松永 有希子	政策文化4年	水産大OBを訪ねる旅 メキシコ マサトラン編
818	2007.04.	無分類			薬水会創立85周年記念フォーラム 海は生命のみなもと

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
818	2007.04.	無分類	小泉 武夫	東京農業大学教授	日本の魚食文化（イワシからクジラまで）
			林 英一	10製大	海外事情 ベトナムでの食べ物
		New Wave	古澤 昌彦	海洋環境教授	水産音響は科学的漁業とともに
		海鳴り	小野寺 五典	31海工	真の海洋国家を目指して－海洋基本法制定，総合海洋政策本部，海洋政策担当大臣設置へ
			竹下 敦子	37増殖	カタクチイワシは地域の宝！
			中谷 徹	49遠	ヨーロッパ横断リパークルーズ紀行
		Mail Box	内田 明	21増大	「鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する会」について
熊谷 純	9 漁大		笠度丸と北洋漁業		
817	2007.01.	無分類			楽水会創立85周年記念フォーラム 海は生命のみならず
			矢澤 一良	特会	海と健康と長寿
			信田 臣一	16製大	楽水イベント 公開セミナー ゼロエミッションと水産
			林 英一	10製大	楽水イベント 公開セミナー 技術士への道 JABEE と大学
			杉山 慎策	客員教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第14回アメリカ・カナダ海外研修報告
		New Wave	佐々木 剛	38養殖	海洋リテラシーを高めるためには
		海鳴り	本江 喜久雄	25増大	アンテナの感度を高めよう！
			鈴木 健	13製大	カナダ東部の水産および海洋博物館
		Mail Box	橋場 未治	1 増大	日新丸（調査捕鯨母船）と海鷹丸などのこと 1
			大森 信	特会	自然と生物多様性を考えようとしないうる水産科学では崩壊に直面している水産資源は救えない
			利渉 義宣	1 漁大	館山実習場界隈のこと
			愛沢 伸雄	NPO 法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム	館山の海から生まれた友情を未来に
			池田 恵美子	NPO 法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム	館山の海から生まれた友情を未来に
			松永 有希子	政策文化3年	水産大OBを訪ねる旅 メキシコ ラパス編
第8回楽水公開セミナー パネルディスカッション 『大学の夢を語ろう』					
816	2006.10.	無分類	林 英一	10製大	海外事情 中国の和諧社会
			芳賀 穰	45育成	海産魚類の種苗生産
		Mail Box	長谷川 義信	2 増大	天声人語に載った田口泰正氏（49歳）の日記
			竹内 正一	7 漁大	2年目を終えた「漁業について考える会」
815	2006.07.	楽水紀要	杉山 慎策	客員教授	学生の日から見た中国・上海の今 上海研修報告から－棚橋鐘一郎記念寄附講座－
			木村 宏之	資源育成4年	上海の街を訪れて
		New Wave	工藤 貴史	41管理	漁業と遊漁船業の競合/共存
		海鳴り	林 英一	10製大	水産業におけるトレーサビリティと地域 HACCP
			橋場 未治	1 漁大	表紙絵について
		Mail Box	金澤 芳雄	2 製大	雲鷹丸と寺田寅彦
814	2006.04.	New Wave	濱田 奈保子	特会	生鮮魚介類の温度および鮮度管理システムの開発
			渡邊 悦生	13製大	生鮮魚介類の温度および鮮度管理システムの開発
		海鳴り	簡 滄源	13漁大	地中海に生きる 4（最終章）
Mail Box	大塚 一志	2 漁大	「楽水の人びと抄」の刊行を果たして		
813	2006.01.	無分類			楽水イベント 第7回楽水公開セミナー
			安部 義孝	12増大	水族館は環境の芸術！水族館で働くには 水族館は環境芸術である
			前田 尚	10増大	水族館は環境の芸術！水族館で働くには 水族館に就職するには
			杉山 慎策	客員教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第13回海外研修報告－カナダ・アメリカ－
		楽水紀要	楽水会		快鷹丸記念碑
		New Wave	岡崎 恵美子	25食大	簡便・迅速な品質測定技術としての近赤外分析の可能性
			Musleh Uddin	13博	簡便・迅速な品質測定技術としての近赤外分析の可能性
		海鳴り	煙山 彰	28増大	岩手県のブラックバス
			簡 滄源	13漁大	地中海に生きる 3
		Mail Box	武田 泰雄	4 製大	楽水会について思う

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
813	2006.01.	Mail Box	溝口 扶二雄	8 増大	週刊コミック誌「スピリッツ」に関屋庸弘氏（8 増大）のご子息が「バンビーン」を連載
812	2005.10.	New Wave	内田 圭一	43海洋	GPS/RIFIDを用いた漁業調査自動化システムの開発—東京湾アナゴ筒漁業を対象とした場合—
		海鳴り	簡 滄源	13漁大	地中海に生きる 2
		Mail Box	長谷川 義信	2 増大	60年目の「鎮魂」（海の防人編集後記）
811	2005.07.	無分類			東京水産大学創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演
			渡邊 悦生	13製大	水産業・漁村の多面的機能
			茂木 正人	40育成	海鷹丸によって得られた南極海の魚類
			北門 利英	生物資源 助手	鯨類の空間的構造解析に関する研究
		New Wave	竹内 淳一	18漁大	紀伊半島周辺の黒潮と振り分け潮
		海鳴り	簡 滄源	13漁大	地中海に生きる 1
810	2005.04.	無分類	岩成 和子	客員教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第12回海外研修 日本と英国との食品流通・マーケティング比較—
					海洋大 関係者2名「H16年度 社会貢献者表彰」受賞
		New Wave	櫻本 和美	23漁大	水産資源はなぜ変動するか？
		海鳴り	信田 臣一	16製大	地場産業の生き残り・国際化の対応
			松尾 浩司	42海洋	非常勤漁師のためいき⑥
		Mail Box	洪 性坤	12漁大	私と伏鷹丸
809	2005.01.	楽水紀要	庄司 るり	海洋工学部	海洋工学における海洋ブロードバンド通信システムの開発
			大津 皓平	海洋工学部長	海洋工学における海洋ブロードバンド通信システムの開発
		New Wave	青山 千春	26漁大	わが国は資源大国であった 海鷹丸で日本海のメタンハイドレートを発見
		海鳴り	山本 忠	40養	第12回国際漁業経済会議 成功裏に終わる
		Mail Box	佐々木 幸康	40漁	「水産講習所 海の防人」の刊行を終えて
			山脇 啓輔	19修	遠くにおいて同窓生—ワシントン州立孵化場に訪米調査団を迎えて
808	2004.10.	無分類			哀悼 鈴木善幸楽水会会長 逝く
			宮澤 喜一	元内閣総理大臣	〃 弔辞
			森 和夫	39製	〃 誠実・正直・純朴
			岩切 潤	5 漁大	〃 鈴木善幸会長 追悼の言葉
				〃 政治家・鈴木善幸会長のプロフィール	
		楽水紀要	松山 優治	16漁大	海鷹丸 第46次日本南極地域観測に参加
		New Wave	竹内 裕	45育成	魚の借り腹—ヤマメにニジマス産ませる技術の開発
		海鳴り	橋場 末治	1 増大	「江差追分」節と追ニシン漁について
		Mail Box	大塚 一志	2 漁大	（仮題）楽水の人々…略伝集 刊行にご協力を
			竹内 正一	7 漁大	「漁業について考える会」に参加しませんか！
807	2007.07.	無分類			創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演
			樊 春明	9 博	漁場域連続高精度水温計測に関する基礎的研究
			林 敏史	36漁工	オーストラリア海事大学と東京水産大学の海事教育環境について
			浪越 通夫	海洋環境学科教授	らん藻が生産する生物活性物質に関する研究
			楽水会館落成記念特集		
806	2004.04.	New Wave	本田 修	29漁工	画期的な漁業に役立つ海況日報
		海鳴り	鈴木 平光	22製大	永久の海鳴りを求めて 今一 求められる大学再生への道
			松尾 浩司	42海洋	非常勤漁師のためいき⑤
805	2004.01.	無分類			楽水イベント 第5回楽水公開セミナー 発足した東京海洋大学について
			松山 優治	学部長（16漁大）	海洋科学部の教育と研究について
			大津 皓平	学部長	海洋工学部の教育と研究について
			岩成 和子	客員教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第11回海外研修 デンマークに学ぶ自給・共生の精神
		New Wave	和泉 充	海洋工学部教授	高温超電導体バルク磁石の高速海水浄化への応用
		海鳴り	松尾 浩司	42海洋	非常勤漁師のためいき④
			橋場 末治	1 増大	絵馬について
		Mail Box	千葉 胤英	53漁	楽水会 同窓会名簿について一言
	禰田 一俊	20増大	ダムによる環境破壊、海にも影響 漁業者はしっかり検証しよう		
804	2003.10.	New Wave	青山 千春	26漁大	海鷹丸でメタンハイドレートの海底を探る
		海鳴り	松永 貞昭	2 漁大	18年の歳月を経て、今……御巢鷹山救難活動の真実を語る [マスコミは公器か]

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
804	2003.10.	海鳴り	中川 孝夫	3 増大	“スタンバイ”のルーツ探し		
			橋場 末治	1 増大	松浦武四郎のスケッチ画などについて Part 4		
		Mail Box	佐々木 幸康	40 漁	「水産講習所 海の防人」刊行記念会の開催		
			長谷川 義信	2 増大	「若夏（うりずん）に還らず」を観劇して		
			佐藤 稔	2 製大	『楽水会館』の名称と「楽水会の行く末」について（提言）		
松下 卓郎	50 製	棚橋鐘一郎記念寄附講座について					
803	2003.07.	無分類	山田 雄司	11 製大	講演会-政治がわかる-風刺マンガよもやま話 創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演		
			濱田 奈保子	特会	内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）の海洋微生物による分解と環境浄化		
			小川 哲史	49 食品	レシチン-キトサン膜により安定化された陽イオン滴を含む O/W (oil-water) エマルジョンの生成と特性		
			山田 作太郎	特会	水産資源管理における不確実性の研究		
		楽水紀要	大森 信	特会	限りのある海の生物資源		
		New Wave	遠藤 雅人	46 育成	閉鎖生態系循環式養殖システムの開発		
		海鳴り	松尾 浩司	42 海洋	非常勤漁師のためいき③		
			橋場 末治	1 増大	松浦武四郎のスケッチ画などについて Part 3		
			伊東 久助	特会	久翁漁談21		
		Mail Box	渡辺 浩幹	30 増大	大学統合への期待		
			黒瀬 総一郎	資源管理 3 年	資源管理研究会と韓国麗水大校との交流報告		
			色川 元	4 漁大	新しい東京海洋大学誕生の時期に楽水会は何をなすべきか		
			福山 義徳	4 漁大	建白書 楽水会館の名称について		
		802	2003.04.	楽水紀要	木幡 孜	6 増大	瀬戸際に立つ日本漁業
New Wave	浅野 典子			41 海洋	バイオウェザーサービス		
海鳴り	石田 光洋			38 食生	チリ通信 Vol. 5		
	松尾 浩司			42 海洋	非常勤漁師のためいき②		
橋場 末治	1 増大			松浦武四郎のスケッチ画などについて Part 2			
Mail Box	志道 良夫	51 漁	東京商船大学との統合に思うこと				
801	2003.01.	無分類			楽水イベント 第4回楽水公開セミナー 新大学の目指す道		
			高井 陸雄,	特会, 特会	新大学の進む道		
			桑島 進				
		垣添 直也	9 製大	新大学に期待すること			
		楽水紀要	須能 邦雄	16 漁大	水産から見た時代の変化		
		New Wave	大島 敏明	26 食生	エノキダケ抽出液による食品の変色と脂質酸化の防止		
		海鳴り	松尾 浩司	42 海洋	非常勤漁師のためいき①		
			熊谷 純	9 漁大	快鷹丸遭難祈念碑参拝旅行会		
		Mail Box	簡 滄源	13 漁大	東京水産大学に留学して その三		
			佐藤 輝朝	54 漁	新大学発足に寄せて		
800	2002.10.	無分類	岩成 和子	客員助教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第10回海外研修-EUの食料品政策-		
			中村 宏	助教授	地域共同研究センター 水産メールマガジンの配信開始		
		楽水紀要	松山 優治	16 漁大	海鷹丸とムンク (Munk) 博士		
		New Wave	鶴飼 和代	44 海洋	海の無用者にスポットライトを 未利用海洋生物資源の有効利用		
		海鳴り	石原 昭治	17 製大	新統合大学のグランドデザインをどう描くか		
			石田 光洋	38 食生	チリ通信 Vol. 4		
			簡 滄源	13 漁大	東京水産大学に留学して その二		
		Mail Box	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談20		
			加藤 治	39 育成	インターネットの利用法について		
		799	2002.10.	無分類	井上 清	52 漁	雲鷹丸保存委員会の現況について
					大島 寛史	21 製大	母校で会いましょう 講演会「癌の予防のために」 創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演
					今田 千秋	28 漁工	海洋微生物による難分解性人工キレート剤の分解と環境浄化
					吉江 由美子	35 食生	食品成分の抗酸化ならびに酸化促進に関する研究およびマサチューセッツ大学食品科学科との学術交流
柿原 利治	22 漁大			オーストラリア海事大学 (AMC) における海事教育訓練について			
楽水紀要	前田 芳彦			7 増大	イワムシ養殖の概要教本		
海鳴り	鈴木 文枝			44 海洋	専攻科教育の充実を目指して		
	簡 滄源	13 漁大	東京水産大学に留学して その一				

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
799	2002.07.	海鳴り	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談19		
		Mail Box	藪内 久和	23漁大	海鷹丸レシーフ寄港に寄せて		
			糸山 英博	48漁	モンテビデオ海鷹丸見聞記		
			鎌倉 靖夫	51増	三番瀬の保全・再生に期待する		
			編集委員会		日本の食品会社 アメリカに進出“ザ エクセレント カンパニー”		
佐々木 幸康	38遠漁	「水産講習所 海の防人」の刊行のお願い					
798	2002.04.	無分類	佐藤 要, 鈴木 健, 林 哲仁, 田畑 日出男, 松井 澄子, 所 英樹, 熊谷 純, 新美 佑二	11漁大, 13製大, 21製大, 13漁大, 16増大, 25食大, 9漁大, 11漁大	特別座談会 国立大学改革と大学統合問題		
			矢澤 一良	客員教授	研究室紹介1 ヘルスフード科学講座 中島董一郎記念寄附講座		
			山口 宏二	客員助教授	研究室紹介1 ヘルスフード科学講座 中島董一郎記念寄附講座		
					地域共同研究センター お知らせ		
					次代の水産をつかめ 海鷹丸乗船記		
			海鳴り	石田 光洋	38食生	チリ通信 Vol. 3	
				伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談18	
		Mail Box	藪内 久和	23専	海鷹丸チリだより		
			山田 誼	53漁	海鷹丸チリ寄港によせて		
			竹内 正一	7漁大	西野園芸再スタート		
			大嶽 平市	49遠	勲三等瑞宝章に輝く三重大学名誉教授 山口裕一郎兄		
		797	2002.01.	無分類	久木田 雅之	15漁大	新春のメッセージ ベルマーク運動に目を向けて
					鈴木 平光	22製大	水産大学で学ぶこと
					桜井 研	客員教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第9回海外研修「北アメリカ編」
							楽水イベント 第3回楽水公開セミナー 水産分野における女性の活躍
田代 有里	40食品				食品の物性を研究して食生活を豊かにしよう		
吉江 由美子	35食生			高い留学と安い留学, 留学した甲斐のあるものにしよう			
福岡 美香				水産大学でお米&うどんの研究?			
濱田 奈保子	特会			会社勤務→博士取得→社会復帰→大学教官へのあきらめない道			
New Wave	蓮沼 啓一			11漁大	海洋はおもしろい		
海鳴り					次代の水産をつかめ 海鷹丸乗船記		
Mail Box	宇野 壽一			36製	楽水会館建設事業の成功を祈ります		
796	2001.10.	無分類	岩成 和子	客員助教授	棚橋鐘一郎記念寄附講座 第8回海外研修「ノルウェー, オランダ編」		
			New Wave	佐藤 順幸	28修	水産養殖と泡沫分離	
			海鳴り	中谷 徹	49遠	英国客船オリアナ号乗船レポート	
伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XVII					
795	2001.07.	無分類			創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演		
			舞田 正志	32養殖	〃 養殖アユの生体内脂質過酸化と感染症に対する抵抗性に関する研究		
			嶋倉 邦嘉	33食生	〃 魚介類中のアレレルゲンの性状解明		
		長野 幸江	食品生産学専攻	<i>Listeria Monocytogenes</i> が産生する Biofilm に関する研究			
		楽水紀要	地田 修一	14増大	下水処理技術の変遷とこれからの展望		
		New Wave	佐藤 順幸	28修	泡沫分離-泡が生み出すテクノロジー		
		海鳴り	橋場 末治	1増大	松浦武四郎のスケッチ画などについて		
794	2001.04.	楽水紀要	大日本水産会		「健康・健脳・魚食」に関するシンポジウム		
		New Wave	藤田 近男	51製	“卵黄コリン&ビタミン B ₁₂ ” の開発		
		海鳴り	石田 光洋	38食生	チリ通信 Vol. 2		
			佐野 彭	3漁大	凄げえ処に入っちゃった		
		Mail Box	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XVI		
編集委員会			『和敬四海心』の意味について				
793	2001.01.	無分類			創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演		
			海洋環境学科 練習船		〃 沈没船体漏出重油の表中層海洋環境への影響解析に関する研究		
			浦野 直人	15修	〃 水圏に生育する酵母の分離		

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
793	2001.01.	無分類	金丸 陽一郎	45食品	〃 デンプンの糊化過程における低分子量溶質の影響	
			根本 雅生	31漁生	〃 漁業情報に関する基礎的研究	
					地域共同研究センター 第11回シーフードセミナーより	
			藤井 健夫	特会	〃 食品安全性確保の新しい流れ	
				石崎 松一郎	35食工	〃 水産練り製品の原料魚判定はどこまで可能か?
		楽水紀要	松山 優治	16漁大	三宅島の火山噴火による火山灰等が海洋環境・資源に与える影響に関する実態調査	
		海鳴り	寒河江 亮一	33漁生	ありがとう! 朋鷹寮と夏の実習	
			鈴木 幹久	37漁生	新海鷹丸の建造に際して	
			佐野 彭	3 漁大	凄げェ処に入っちゃった	
			伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XV	
		Mail Box	三輪 孝則	24増殖	24回西野君応援のお願い	
792	2000.10.	無分類	岩成 和子	客員助教授	東京水産大学寄附講座 第6回 第7回 海外研修報告	
		楽水紀要	羽曾部 正豪	28増大	高校(生物)のための培養細胞学	
		New Wave	編集委員会		第27回東京水産大学公開講座 要旨抜粋	
		海鳴り	編集委員会		座談会 東水大 OB 大いに語る	
			森 和夫	39製	アメリカに夢を売った男	
			山本 忠	40養	東郷行泰氏の奇抜な発想	
			佐野 彭	3 漁大	凄げェ処に入っちゃった	
			熊谷 純	9 漁大	海鷹丸クルージングを終えて	
			市川 弥生子		海鷹丸クルージング体験記	
		Mail Box	佐々木 幸康	40漁	『水講 海の防人』の作成趣旨とお願い	
		791	2000.07.	無分類	池野 功	5 漁大
楽水紀要	羽曾部 正豪			28増大	水産素材を「外」から見ると? -生物教材のはなし	
New Wave	編集委員会				Liaison Center いよいよ始動!!	
海鳴り	石田 光洋			38食生	チリ通信	
	古谷 清	52漁	楽水会の活性化と組織強化のための提言3			
790	2000.04.	無分類	松井 澄子	16増大	目指せ! 世界の海洋大学	
		楽水紀要	信田 臣一	16増大	ゼロ・エミッション型水産加工団地について	
		New Wave	皆川 園美	30修9博	イソギンチャクは生理活性物質の宝庫	
		海鳴り	山脇 啓輔	19修	アラスカ漁業監視員航海記	
			古谷 清	52漁	楽水会の活性化と組織強化のための提言2	
			松下 卓郎	50製	棚橋記念寄附講座と国立大学の独立法人化	
	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XIV			
789	2000.01.	無分類			特集 第1回楽水セミナー	
			鈴木 健	13製大	水産分野の国際協力 挨拶	
			有元 貴文	22増大	公開セミナー小委員会	
			渡辺 浩幹	30増	FAOにおける国家公務員の実務と課題	
			佐々木 直義	21漁大	国際協力事業団の水産協力	
			小長谷 史郎	5 製大	東南アジア漁業開発センターにおける国際協力	
		楽水紀要	小池 康之	14増大	潜水技術と調査研究 (1)	
		海鳴り	古谷 清	52漁	楽水会の活性化と組織強化のための提言	
			黒子 三良	53漁	楽水会を活性化と組織強化のための提言	
			石毛 清美	42食品	卒業生からのメッセージ	
			伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XIII②	
			特別寄稿 水大に地域共同研究センターを設立しよう! 創立百周年記念学術研究奨励基金採択者一覧			
788	1999.10.	無分類	堀井 明代	45食品	アメリカ交換留学を終えて	
			岩成 和子	客員助教授	東京水産大学寄附講座 第5回海外研修報告	
			New Wave	鈴木 亨	37海工	東京湾における風による湾内水の応答に関する研究
		海鳴り	名和 二郎	50漁	日本海運の現状を考える	
			東京水産大学潜水部		東京湾の観察者たちからのメッセージ	
			伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XIII 館山の漁師ナイル川で漁をする	
			古谷 清	52漁	大仏次郎先生と52期小クラス会で出た貴重な話題	
			伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 VII	
787	1999.07.	無分類	軽部 征夫	14製大	講演 独創力で成功する方法 創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演	
			浦野 直人	15修	水産加工の排水を分解する海洋酵母の分離と水産飼料への応用	
			桜井 研	客員教授	東京水産大学寄附講座 第4回海外研修報告	
		楽水紀要	橋場 末治	1 増大	「日本の漁業史に残る人々」 その2	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
787	1999.07.	New Wave	片桐 孝之	30修9博	遺伝子に係わって
			高柳 敏郎	9 製大	食品の流通構造の変化と水産物への視点
			千葉 早苗	32修	南太平洋スタックレポート
			蓮沼 啓一	11漁大	インターネットの大海に乗り出そう
786	1999.04.	無分類	小野寺 五典	31海工	水産健児の志で国政にチャレンジ
			渡瀬 節雄	48漁	刺し身は遠くなりにけり
		楽水紀要	橋場 末治	1 増大	「日本の漁業史に残る人々」 その1
			阿部 洋一	24食大	「私、冷凍すり身屋です」
		New Wave	栗田 尚武	7 漁大	40年前の遠航日誌
			伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 XI
785	1999.01.	無分類	高橋 神奈男	東京水産大学入学主幹	新春特集 雲鷹丸の歴史と業績
			保田 武夫	30漁	〃 雲鷹丸回想録
			井上 清	52漁	〃 保田先輩の雲鷹丸回想録について
					〃 雲鷹丸 冊子全文
					創立百周年記念基金
			古瀬 昌彦	特会	超音波による水中温度計測
		楽水紀要	高橋 大吾	36漁工	ジャカルタ滞在記
		New Wave	崔 漸珍	10博	小型イカ釣り漁船の光力適正化
		海鳴り	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 X
		784	1998.10.	無分類	
板東 出樹	44食品				アメリカ交換留学における成果
岩成 和子	特会				東京水産大学棚橋寄附講座 アメリカ研修 報告
佐野 蘊	2 増大				ベーリング公海のマスノスケ
楽水紀要	永井 博			52増	百年前の日本漁業余話 (2)
	内藤 一郎			52増	一水産事項特別調査を読んでー
New Wave	陳 勇			8 博	ヘドロの海藻礁への利用
海鳴り	伊東 久助			元東水大技官	久翁漁談 IV
	三好 勝			51増	政治哲学者 南原 繁 余聞 一果たせなかつた早期終戦和平-
783	1998.07.			楽水紀要	佐野 蘊
		永井 博	52増		百年前の日本漁業余話
		New Wave	鈴木 直樹	39管理	資源を管理するということ
			黒澤 團	41養	魚が教える “環境と子育て” の研究
		海鳴り	指出 純夫	53漁	東京水産大学『座禅の会』の歩み
			安西 祐一	31漁生	地球百貨店
782	1998.04.	楽水紀要	佐野 蘊	2 増大	日本系シロザケと沖取り漁業
		New Wave	久田 孝	38食生	ミクロな共生達
		海鳴り	石沢 健三	51増	Hong Kong Chinese について想う
			梨岡 寧	51増	戦没先輩の記録と慰霊について
			宮下 敏夫	19増大	アフリカ「マラウイ」紀行
			黒岡 誠一	18製大	インドネシア便り
781	1998.01.	無分類			創立百周年記念基金
			隆島 史夫	10増大	国際セミナー「アジアにおける水産業養殖」催される
		楽水紀要	佐野 蘊	2 増大	オゼルナヤ河のベニザケ遡上観魚量とサケ・マス沖取り漁業の変遷
			New Wave	森川 由隆	35海工
		海鳴り	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 VIII
			河内 道雄	社会人学生	館山の海と風に学ぶ
			古谷 清	52漁	「三浦楽水」交友半世紀
			藤井 資己	31漁工	水産学部国際技術協力学科の必要性
780	1997.10.	無分類			創立百周年記念学術研究奨励基金に基づく学術講演
			中村 和夫	国際文化論共通講座教授	ジュネーブからの報告
			嶋倉 邦嘉	33食生	魚介類中のアレルゲンの性状解明
			鈴木 健	13製大	IFT 総会出席とマサチューセッツ大学アマースト校を訪問して
			岩成 和子	特会	棚橋鐘一郎記念寄附講座 棚橋鐘一郎先生の教育思想とその伝播
		New Wave	坂本 崇	39育成	探検航海 第2幕 (大航海時代の幕開け)
		海鳴り	田中 元樹	47製	水産界は今こそ元気を

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
780	1997.10.	海鳴り	伊鹿和 余塩 小山 清二	51漁	東京水産大学の新世紀を担うべき課題 一枚の写真
779	1997.07.	無分類			創立百周年記念基金
			浪越 通夫	海洋環境学科助教	閉鎖水域に異常増殖するらん藻が生産するペプチド毒の生合成と消長に関する研究
			菊池 直樹	43食品	カルノシンの生体膜脂質に及ぼす抗酸化作用
			林 茂群	30修	色素細胞の活動調節による赤色魚の体色改善に関する研究
			長谷川 晃	共通講座教授(哲学及び法哲学専攻)	ヒューストンの報告
			岩成 和子	特会	棚橋鐘一郎記念寄附講座 中国華南経済圏を中心とする研修報告レポート
		New Wave	色川 信之	24漁大	NZ's QMS (Quota Management System)
		海鳴り	小林 茂夫	48漁	和船の推進具・棹と櫂と櫓
			松永 貞昭	2 漁大	“まさか”の時にどうするか
			湯山 吉久	6 漁大	わが恩師、わが先輩
			米山 裕	54製	「ワープロ」の落とし穴
778	1997.04.	無分類			創立百周年記念基金
			ストルスマン・カルロス	22修	「ベヘレイ増養殖技術に関する基礎的・応用的研究」
					75周年記念について
			緒方 光平	51増	楽水会75周年記念大会に受賞して
			米山 裕	54製	「知者楽水」か「智者楽水」か
			大森 信	特会	調査旅行 資源育成学科の宮城県・岩手県への調査旅行
		New Wave	吉江 由美子	35食生26修6博	「食べ物と水産大学にかかわり、外国から見て」
		海鳴り	富山 哲夫	28養	南極訪問印象記
			黒田 竹弥	38養	私の足跡(海を耕して60年)を読んで
777	1997.01.	無分類	竹内 正一	7 漁大	記念号について一母校に望む将来像を読んで
					創立百周年記念基金
			荒川 久幸	34海工	黄海における可視域リモートセンシングに関する基礎的研究
			大森 信	特会	海の生物の分布への人間活動の影響
					75周年記念行事収支中間報告 寄附個人ご芳名表・団体一覧表
		海鳴り	妹尾 次郎	特会	縁は異なるもの
			岩成 和子	特会	「情報充電」の旅から
			高木 和徳	50養	アメリカ深南部珍道中笑草
776	1996.10.	無分類	鈴木 善幸	会長	創立75周年記念式典・祝賀会のご案内
			天野 慶之	36製	楽水会をふりかえる
			斎藤 治郎左衛門	32製	親子三代「母校の思い出」
			卒業生43名		母校に望む将来像
			小野寺 宗仲	43食品	社会人になる前に身につけておくことは何か
			斎藤 民夫	51漁	新船員教育に思う
			武田 泰雄	4 製大	先輩・故 K 氏
			藤田 正	29養	創立75周年によせて
775	1996.07.	無分類	奈須 敬二	2 漁大	鯨が産んだ日本の文明開化
			石川 義生	51漁	楽水会75周年の為の箴言抄-水産総合科学の明日への夢-
					創立百周年記念基金
			山崎 秀勝	海洋環境学科	海洋の乱流中における動物プランクトンの行動モデルの開発
			鈴木 健	13製大	海藻に含まれる食物繊維の栄養学面からの役割
			青木 宙		学術研究奨励基金によるスコットランド海洋研究所 Ellis 博士の招聘
			大槻 晃	特会	国際研究集会開催報告
			江口 幸代	42食品	アメリカ留学体験記
			胡 輝星		逆問題手法と食品凍結所要時間
		New Wave	羽曾部 正豪	28増大	研究するのもまんざら悪くない
		海鳴り	吉 孝也	3 漁大	国際魚仲買商人盗難被害記録=私の後半生
			蓮井 清	48養	アイナメ釣り談義
			伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 VII
			妹尾 次郎	特会	本場の河豚料理
774	1996.04.	New Wave	張 成年	27増大	研究放浪記

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
774	1996.04.	海鳴り	近森 正典	53漁	座禪を愛した水産の先輩 そのII 求道	
			真道 重明	45養	私の知る戦前の留学生-彼らとの再会や消息	
			蓮井 清	48養	曳縄釣りの道具について	
			藤田 正	29養	水講 第29回関係披露目録	
773	1996.01.	無分類			復興奨励金	
					平成7年度兵庫県楽水会総会ならびに阪神淡路大震災復興激 励会開催さる	
			島本 信夫	17増大	-全国の同窓各位へ 神戸より感謝を込めて-	
			竹内 正一	7 漁大	阪神淡路大震災復興激励会に出席して	
		New Wave	柄山 正樹	22製大	海を越えた環境教育	
		海鳴り	近森 正典	53漁	座禪を愛した水産の先輩 そのI 志願	
			古谷 清	52漁	入学50周年記念漁52期会・余間	
			編集委員会		親子孫と3代に渡る同窓について	
藤田 正	29養		親子、孫、兄弟			
伊東 久助	元東水大技官		久翁漁談 VI			
772	1995.10.	無分類	鈴木 善幸	37養	「阪神大震災義援金」のお礼について	
			大西 英昭男,	51漁, 53製	お礼	
			鈴木 良造			
			大山 孝男	4 漁大	楽水会創立75周年記念行事実施について	
					創立百周年記念基金報告	
			大森 信	特会	サクラエビと生物発光	
			廣吉 勝治	資源管理学科	〃 アンソニー・スコット教授を招聘して	
		New Wave	松浦 啓一	19増大	標本資料の収集と管理 標本を捨てるな!	
			河野 博	27漁大16修	東京水産大学 水産資料館の役割	
			土屋 光太郎	34漁生4 博	東京水産大学 水産資料館の役割	
		海鳴り	井上 千春	食品生産学専攻	海洋航海体験談	
		771	1995.07.	無分類	田畑 日出男	13漁大
松永 貞昭	2 漁大				〃 楽水会を考える	
					創立百周年記念基金報告	
鈴木 徹, 高井	27食工, 特会				「水産食品及び魚類細胞のガラス転移に関する研究」の概要 説明	
羽曾部 正豪,	28増大				「水産食品及び魚類細胞のガラス転移に関する研究」の概要 説明	
田中 宗彦						
潮 秀樹	特会				「海産赤魚におけるトコフェロール同族体含量の季節変動と その品質保持に及ぼす影響	
吉江 由美子	35食生				日米の食品科学教育の比較をもとに	
New Wave	鈴木 平光			22製大	行政職っておもしろそう!?	
	松里 寿彦			13増大	国連食糧農業機関 (FAO) での4年間	
	重 義行			22漁大	水産行政について (自分の軌跡を振り返って)	
	大和 義久			33漁生	地方の水産行政と漁業のかかわり	
海鳴り	石橋 正			49遠	遠漁のこと, 宝谷のこと	
	伊東 久助			元東水大技官	久翁漁談 V	
	竹内 正一			7 漁大	三代の楽水会会員とともに	
770	1995.04.			無分類		
		New Wave	加藤 守	13増大	水産庁「中央水産研究所」	
			鈴木 秀雄	4 製大	今, 三浦から「海業」(うみぎょう) 21世紀に向けて	
			工藤 孝浩	33漁生	環境保全研究における潜水モニタリングの活用	
			大沼 昭彦	14製大	新しい水産高校の学科改編と教育	
海鳴り	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 IV			
	川島 和幸	49遠	平田紡績(株)開発事業の思い出			
769	1995.01.	無分類	渡辺 晋	27増大	東京水産大学の改革について-環境技術者の育成を一	
		New Wave	山村 和夫	18漁大	漁業と環境	
			金子 守男	40管理	日本の希少な野生水生動植物	
			角埜 彰	31養殖	イカ肝臓を用いた海洋汚染モニタリング	
			井上 清和	31養殖	海面養殖と海洋環境	
		海鳴り	山城 弘義	51漁	タンカー鹿島丸 AFLOT 定期検査に思う	
			利涉 義宣	1 漁大	寮歌のルーツ	
	伊東 久助	元東水大技官	久翁漁談 III			
	小園 拓人	海洋生産学科3年	乗船実習を終えて			
768	1994.10.	無分類			創立百周年記念基金報告	
				上村 豊	特会	(海外派遣) ウェールズ大学での研究 (バンガーにて)
				鈴木 健	13製大	IFT 総会及び食品展に参加して

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名			
768	1994.10.	New Wave	編集委員会		世界規模での食糧問題			
			鈴木 健	13製大	水産食品の栄養学的な特徴			
			橋本 浩二	大和製缶(株)総合研究所	博士課程後期1年(社会人特別選抜)			
				吉江 由美子	35食生26修博士課程後期在学	留学中間報告		
		海鳴り	妹尾 次郎	特会		同一市・町内の楽水人		
			吉 孝也	3漁大		“戦争と平和”と“国際魚仲介商人”		
高橋 正弘	18製大			むぎめし				
767	1994.07.	無分類	田中 昌一	特会	母校の現状について			
			山下 泰裕	東海大学助教授	柔道を通して学んだこと、教えられたこと			
		New Wave				—生命のナゾ—誕生・進化に新説続々(日経新聞「サイエンスワールド」科学技術部中島林彦より転載)		
			長澤 和也	23増大		寄生虫を用いた水生生物の生態や進化の研究		
			中村 善治	18漁大7修		第III世代のホッキガイ資源管理システム		
			櫻本 和美	23漁大		ファジィ制御を用いた水産資源の管理		
		海鳴り	伊東 久助	元東水大技官		久翁漁談 II		
		766	1994.04.	無分類	佐藤 博雄	21製大	百周年記念 酷暑のアラビア湾岸紀行	
					体内時計の神秘(日経新聞「サイエンスアイ」より転載)			
New Wave	永田 雅一			25漁大		アラビア湾環境汚染調査 潜水レポート		
	山村 和夫			18漁大18専		ハイテクで探るシロナガスクジラ資源回復の道		
	山崎 秀勝			海洋生産学科海洋漁場学講座助教授		GLOBEC(グローベック) Global Ocean Ecosystem Dynamics		
海鳴り	元信 たかし			15増大		故郷の川にマスの遡上を再び		
	伊東 久助	元東水大技官		久翁漁談 I				
765	1994.01.	New Wave	編集委員会		静かなブームを呼んでいるホィート・ビール			
			寺山 誠人	29食生18修		宮崎県水試から母校に研修		
			平原 弘志	35食工24修		海外出張について		
			水口 聡	33食工22修		水産高校の教員になって		
		海鳴り	小松 健明	23漁大		休日には芝浦へ		
			原田 尚樹	42海洋		私のアカイカ漁場調査航海		
			山城 弘義	51漁		海事代理業とその周辺業務 etc		
764	1993.10.	無分類			創立百周年記念学術研究奨励基金招へい報告			
			磯 直道	特会		〃 クライズデール教授の招へい		
			鈴木 健	13製大		〃 特別講演 食品科学, 栄養学, 健康, 及び技術 報告記		
			鈴木 健	13製大		〃 「フォーラム」 「マサチューセッツ大学食品科学科の大学院及び学部教育」を司会して		
			平野 敏行	4製大		〃 食品生産学科とマサチューセッツ大学食品科学科の学術交流協定		
			New Wave	編集委員会			“夢” 追う人たち	
				岡本 信明, 坂本 崇	22増大, 39育成		私たちの研究: 逆行遺伝子とは	
		杉若 圭一		24増大		もっとサクラマスを……		
		海鳴り	根崎 悟朗	26漁大		エビは守らねばならない		
			三枝 博	4漁大		誌・志楽会		
			三村 孝治	4漁大		楽水会と母校との位置づけ		
			草刈 一生	38海工		がむしやりにやっています新しい漁業技術の普及		
		763	1993.07.	無分類	大島 渚	映画監督	総会講演 父のこと, その他	
					秋野 洋一	49製		〃 南は南, 北は北 (ODAで民生向上はあるのか)
妹尾 次郎	特会					〃 水産伝習所初代所長 関沢明清翁の1880年代初めての英文の御業績		
New Wave	編集委員会						買い手市場さらに…… (毎日新聞より)	
	岡崎 恵美子				25食大		UJNR タンパク資源部会に出席して	
	上村 俊一			16製大		イワシ・サンマの刺身が都会の家庭でもおいしく食べられる		
海鳴り	細野 剛			24食大		太田胃散での10年		
	前田 正年			42養		シンガポール脱出始末記レポート		
	762			1993.04.	無分類	渡瀬 節雄	48漁	輸入促進について
石松 信						2増大		中国水産物輸入について
山本 忠						40養		最近の世界の漁業管理の流れ
佐野 蘊		2増大				サケマス沖取り漁業の軌跡		

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
762	1993.04.	無分類	齊藤 治郎佐衛門	32製	私の国際漁業協同組合運動について		
			New Wave	編集委員会		水鳥保護ラムサール条約「谷津干潟」指定へ(朝日新聞より)	
		山村 和夫		18漁大	IWC 京都会議に向けて		
		宮野鼻 洋一		24増大13修	魚群探知機による水産資源量の推定		
		森永 勤		16漁大6修	海鷹丸によるベルシャ湾の環境汚染調査		
		海鳴り	山本 忠	40養	アメリカトヨタ会長 東郷行泰(49養)さん		
			小倉 通男	51漁	「楽水 俳壇」たかの会 東京水産大学俳句会		
761	1993.01.	無分類	鈴木 裕	49遠	公開講座 第19回東京水産大学公開講座 「釣り・人間・自然」		
			古屋 正隆	特会	公開講座 第19回東京水産大学公開講座 「釣り・人間・自然」		
			隆島 史夫	10増大	〃 日本学術会議シンポジウムについて		
		New Wave	編集委員会		養殖漁業の生産額最高 91年漁業生産統計「育てる」へ転換進む(日本経済新聞より)		
			石戸谷 博範	25漁大14修	賢く獲って、世界の人々に安定した食糧を		
			稲田 博史	25漁大	近くて近い国へ 国際学術研究余録:訪韓日記		
			編集委員会		クロマグロ大量養殖 取れぬなら育ててみよう大洋漁業, 採卵から(日本経済新聞より)		
			楽水会		クロマグロ輸入に原産地証明一水産庁が義務付け		
		海鳴り	朝田 英二	4 増大	「うしお」「なぎさ」のこと		
			藤井 信昭	5 漁大	浦島太郎の提案		
			狩野 清貴	29漁生	地方の楽水会員からのお願い		
			妹尾 次郎	特会	黒沼勝造博士の追憶		
		760	1992.10.	無分類	影山 昇	特会	公開講座 日本の水産を支えた人々 田内森三郎 山本祥吉 青年鈴木善幸
					舞田 正志	32養殖	公開講座 日本の水産を支えた人々 を聴講して
New Wave	櫻本 和美			23漁大	曲がり角にきた国際捕鯨委員会		
	鈴木 治郎			16増大	資源管理の最前線—その1 まぐろ類資源の国際管理		
	貞方 勉			21増大	資源管理の最前線—その2 資源管理の資源管理型漁業と地方水試のとりくみ		
	長谷川 誠三			24漁大	日本海区水産研究所		
海鳴り	編集委員会				黒潮誕生1600万年前 インドネシア諸島が赤道海流せき止め(朝刊・夕刊より転載)		
	森 和夫			39製	母校に望むこと「学校との座談会に出席して」		
	尾形 悠紀夫			54漁	最近のロシア極東の漁業事情など		
	稲田 博史			25漁大	北欧漁業見聞録(その1)		
759	1992.07.	無分類	高橋 和人	39漁工	海にお船を浮かべて、行ってみたいな、よその国		
			佐高 信	経済評論家	講演 いま 企業にもとめられているもの		
					創立百周年記念基金国際研究会報告		
			木村 茂, 酒井 昇	11製大, 特会	ハヤカワ教授を囲む教育・研究シンポジウム 報告記		
			白井 隆明	25食大	ハヤカワ教授を囲む教育・研究シンポジウムに参加して		
		New Wave	三輪 曠	3 漁大	胎動から始動へ —ニジマス新品種による市場活性化—		
			編集委員会		甲斐の村に育つイトウ(東京新聞より)		
			服部 克也, 小堀 彰彦	30増大, 26増大	若者の地道な頑張りに注目, その1 めぎせ! ブランド化!!		
			富川 なす美	35増殖24修	若者の地道な頑張りに注目, その2 わが家は人工漁礁—志津川湾でのクロソイ種苗放流について—		
		海鳴り	山本 義久	30養殖19修	若者の地道な頑張りに注目, その3 マダイの質と人間の質		
			編集委員会		海の異常気象観測に「凌風丸」出港		
			妹尾 次郎	特会	寺尾 新先生の御著書「科学点景」		
			根本 清	45養	敢えて再びの提言		
758	1992.04.	無分類	井上 清	52漁	東京水産大学と練習船を愛した人		
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年		
			簡 滄源	13漁大	北大西洋ではクジラが過繁殖, ノルウェーの一般漁業を悩ます		
		New Wave	松山 優治	16漁大	海鷹丸による140° E線のXBT観測結果とエルニーニョ		
			編集委員会		新魚種の養殖盛ん(日本経済新聞より, 一部改編)		
			編集委員会		ニチレイと日本水産がガード下で対決(日本経済新聞より)		
			鈴木 平光	22製大	DHA との出会い		

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
758	1992.04.	New Wave	編集委員会		開発進む海洋深水（日本経済新聞より）
			正井 輝久	20製大	オリゴ糖について
			岩佐 賢太郎	21漁大	まぐろ漁業と環境問題（ワシントン条約とクロマグロ）
			編集委員会		マグロ牧場一水のカーテンで仕切り（読売新聞より）
		海鳴り	編集委員会		花粉症に魚が効く？（日本経済新聞より）
			稲並 芳幸	31養	バラック建仮校舎
			倉本 有子	37漁工	詩
757	1992.01.	無分類	野中 忠	2増大	田内森三郎先生生誕百年に際して
			田中 昌一	特会	新学長就任のご挨拶
		New Wave	井手口 良一	22増大	新しい概念としての SUISAN のすすめ
			編集委員会		気象庁エルニーニョ現象を確認 日本の今冬は暖冬？
			水上 洋一	15漁大	ニチモウの漁具開発部門
			永井 耕造	4漁大	(社) 日本水産資源保護協会とは
		海鳴り	関根 淳	38漁大	躍進する海外まき網漁業へ
			(社) 薬水会		第40回卒業生の皆様へ
			中島 周三, 畑 野 逸斉	40製, 42製	星野直太郎翁自伝ダイジェスト (3 完)
			妹尾 次郎	特会	あんなこと, こんなこと
756	1991.10.	海鳴り	具志堅 宗弘	50製	カイワリ属とイトヒラアジ属の属名
			石川 義生	51漁	水産人国際関係学研究 その6 (完)
			中島 周三, 畑 野 逸斉	40製, 42製	星野直太郎翁自伝ダイジェスト (2)
			具志堅 宗弘	50製	ヒラマサとカンパチの学名
			花田 信次郎	27養	飯山太平水産翁と”いわしのかまぼこ”
755	1991.07.	無分類			特集 練習船の現状と将来
			春日 功	5漁大	練習船特集によせて
			高須 康介	8漁大	専攻科及び練習船の現状について
			峰 雄二	8漁大	東京水産大学練習船の設備の現状とその将来について
			栗田 嘉有	18漁大	東京水産大学練習船の設備の現状とその将来について
			今関 昭博	23漁大	東京水産大学練習船の設備の現状とその将来について
			喜多澤 彰	24漁大	東京水産大学練習船の設備の現状とその将来について
			岡野内 順三	特会	運航士教育の発足にあたって
			井上 清	52漁	海鷹丸遠洋航海記
			野沢 隆之	38漁生	海鷹丸航海記
			師田 彰子	37資増	稚魚を求めて
			三瓶 義則	5漁大	リベットの思い出
			山村 和夫	18漁大	一卒業生から見た専攻科と練習船について
		海鳴り	佐野 和生	2増大	提言と相互理解
			本荘 鉄夫	48養	「美女を囲んで」を読んで
			山本 忠	40養	世界の東京水産大学を夢みて—薬水 No. 754 平成3年第2号を読んで—
			松永 貞昭	2漁大	薬水会も薬でない (評議員時の雑感)
			中島 周三, 畑 野 逸斉	40製, 42製	星野直太郎翁自伝ダイジェスト (1)
			名和 二郎	50漁	ベルシャ湾漁業開発秘話 (アラビアンナイト-2)
			具志堅 宗弘	50製	混乱を重ねたムロアジ類の学名
754	1991.04.	無分類			特集 資源育成学科
			岡本 信明	22増大	はじめに
			多紀 保彦	2増大	資源育成学科ができるまで
			入学試験委員会		資源育成学科の教育・研究
			委員		
			佐野 和生	2増大	—資源育成学科への大いなる期待— 徒然なるままに
			松里 寿彦	15増大	資源育成学科に望む
			桃山 和夫	17増大	—地方水試にいて
		文藻	徳井 利信	45養	貝殻彫刻専修作品によせて
			具志堅 宗弘	50製	マアジの学名
			石川 義生	51漁	水産人国際関係学研究
			名和 二郎	50漁	ベルシャ湾漁業開発秘話 (その1)
			稲並 芳幸	31養	払い下げ水兵外套
			花田 信次郎	27養	八ツ目鰻を訪ねて
			高橋 清	49漁	華中 (中国中部) の旅雑感 (一)
三村 孝治	4漁大	「東水大よ何処へ行く？」			

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
753	1991.01.	無分類			特集 楽水会によせて 各支部よりの提言
			片山 勝彦	51漁	伝統を生かそう
			蓮井 清	48養	これでよいのか楽水会
			青山 雅俊	30増大	支部総会に出席して
			根本 清	45養	活性化に想う
			佐野 晏弘	54漁	丹後の宮津から
		海老沢 良忠	34海工	地方支部の活動現況報告	
		文藻	大垣 繁一	48漁	かに工船漁 (その2)
			石川 義生	51漁	水産人国際関係学 研究 (その4)
			小村 敏夫	52漁	ちょっと辛口ーボケでないのにボケ現象「正気ボケ」
			久保田 伸三	4 増大	辛口提言や関連する提言を読んで一言
			稲並 芳幸	31養	牡蠣は食べない
花田 信次郎	27養		「やればできる」「出来なかったら出来る方法を考えよ」		
752	1990.10.	無分類			特集 第2世紀目を迎えた東京水産大学 学科の現状と将来
			石野 誠	51漁	海洋生産学科の現状と将来
			森永 勤	16漁大	海洋生産学科の教育・研究
			蓮沼 啓一	11漁大	普農工水と楽水
			小川 嘉彦	12漁大	マクベス公演にはシェークスピア向き役者を
			大井 高	海洋生産学科教官	海洋生産学って何だ
		文藻	野元 巳郎	42製	五十年の軌跡
			石川 義生	51漁	水産人国際関係学 研究 その3
			北川 和比古	47魚	風雅への回帰
			森 和夫	39製	母校100周年事業始末記
			小村 敏夫	52漁	在校生の父親からの書簡を読んで
			齊藤 芳朗	25増大	かに工船団出漁 (その1)
松生 洽	3 漁大	所感			
751	1990.07.	無分類	黒田 竹弥	38養	水産増殖から見た最近の中国
			稲並 芳幸	31養	醜態 2件
		文藻	小村 敏夫	52漁	東京水産大学創立百周年記念事業募金運動の逸話
			奈須 敬二	2 漁大	楽水アンケートに答えて
			三村 孝治	4 漁大	今年の入試倍率をみて思うこと 母校の衰退を憂えて
			野口 佐久	8 漁大	2001年の水産業 (海洋編)
			石川 義生	51漁	水産人国際関係学 研究
			花田 信次郎	27養	水産豪傑大石宰・中村正記君をたたえる
750	1990.04.	無分類			特集 「第2世紀目を迎えた東京水産大学一学科の現状と将来」
			長谷川 晃	特会	資源管理学科ができるまで
			平山 信夫	1 漁大	本学科が目指すもの
			櫻本 和美	23漁大	資源管理学科の教育と研究
			田中 栄次	30漁生	資源管理学科への提言
			千國 史郎	4 増大	資源管理学科と漁業管理一途上国における沿岸漁業の発展を展望しつつ
			守安 実己郎	23漁大	西洋乞食のためいき
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (11)
			小村 敏夫	52漁	社団法人楽水会事務局退任のご挨拶
					祝 シアトル楽水会の発足
			発起人一同		故 岩井 博君 (28漁生) 遺児育英資金の募集について
			文藻	稲並 芳幸	31養
石川 義生	51漁	水産人国際関係学 研究 (その一) -100年を経て、今考えるべき課題			
小池 孝和	6 漁大	お邪魔虫航海記			
佐藤 紘一郎	11漁大	宮古島雑感 (その三) 宮古島の気質と風俗			
妹尾 次郎	特会	風呂敷包みの「中身」			
749	1990.01.	無分類			特集 1990年代の夢——21世紀の幕開けの為に
			松生 洽	3 漁大	国際的視野に立って
			岩谷 徹	8 製大	腎臓移植により健康を回復して
			吉村 信子	27食生	21世紀にむけて
			三国 成晃	32漁生	夢に挑戦する東京水産大学
			寺島 悠	37漁生	私たちのミステリーツアー
			師田 彰子	37増殖	私たちのミステリーツアー

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
749	1990.01.	無分類	大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (10)	
			文藻	川名 武	25養	たけしくんーハイ! ……90老のたわごと
				花田 信次郎	27養	イワシに想う
				小淵 元吉	29漁	老境偶感
				稲並 芳幸	31養	備船による海洋調査
				堀江 禮助	39漁	白鷹丸遠洋航海記
				前田 正年	42養	マレー半島縦走記……クワンタン造船所焼き討ち事件
				具志堅 宗弘	50製	振り返れば17年……結実
748	1989.10.	無分類	佐藤 紘一郎	11漁大	宮古島雑感 (その二) 宮古島の酒物語り	
			妹尾 次郎	特会	遺された集印帖, サイン帖等から	
			食品生産学科		特集 第2世紀目を迎える東京水産大学一学科の現状と将来	
			金井 元	29漁	東京水産大学百年史を手にして——思い出に蘇る学友の息吹き	
			厚見 外男	50漁	遠赤外線と其の利用について	
				古賀 明蘭	51漁	楽水ハム倶楽部を作りませんか……全国ハム仲間集合
				三村 孝治	4 漁大	これでは学生が可哀想……愛すればこそ辛口提言
		文藻	妹尾 次郎	特会	沼津実習場にお供する	
747	1989.07.	無分類	酒向 昇	33漁	スミソニアンの旅……慕情おさえ難く父の遺影を尋ねて	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合資会社のアワビ養殖事業について (9)	
			菅原 貞一	35製	楽水ホエールズ友の会各位 (友の会会長)	
				大洋電機㈱		会社紹介……大洋電機販売㈱
		文藻	長束 三四士	29漁	雲鷹丸の思い出——南航海の巻	
				稲並 芳幸	31養	3人の小ボスー 南洋庁水試時代の思い出
				大垣 繁一	48漁	「自分史」「川崎船の転覆遭難」
				佐藤 紘一郎	11漁大	宮古島雑感 (その一) 宮古島の海
746	1989.04.	無分類	妹尾 次郎	特会	実習場の思い出 1. 金沢実習場 2. 小湊実習場	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (8)	
			木沢 武司	13製大	冷凍魚を包む	
				妹尾 次郎	特会	高島実験場に遊ぶ (付, 館山記)
				小村 敏夫	52漁	学生との面白対話
		文藻	稲並 芳幸	31養	試験場の小使爺さん	
				桑 守彦	13増大	私の博士号取得記
				妹尾 次郎	特会	一度ある事は三度ある
745	1989.01.	巻頭言	鈴木 善幸	37養	揮毫「寿」祝 創立百周年	
		無分類			東京水産大学創立百周年記念行事特集	
			森 和夫	39製	東京水産大学創立百周年記念事業の募金運動を終って	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (7)	
				小村 敏夫	52漁	歴史を正しく後世に伝えるために その1 快鷹丸の遭難
				黒坂 善雄		快鷹丸随想と遭難の記・釜山高水3回, 元蒼鷹丸船長
		文藻	長束 三四士	29漁	雲鷹丸の思い出 (北航海の巻……騙そうとして化かされた話)	
				稲並 芳幸	31養	水産試験場就任人事裏話
744	1988.10.	無分類	大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (6)	
			文藻	稲並 芳幸	31養	私の喫煙
				前田 正年	42養	シンガポール脱出夜話
				相沢 喜雄	47製	深川 photo レポート (続)
				赤松 蔚	14製大	私の語学学習
743	1988.07.	無分類	森 和夫	39製	創立百周年事業について (記念事業委員長)	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (5)	
		文藻	稲並 芳幸	31養	高の島の「オーシャン」	
				大垣 繁一	48漁	「自分史」「高山博充君 (49漁) の洋上転落死」
				白鳥 康一		東京水産大学訪問記
742	1988.04.	無分類	白鳥 善子		ときおり思い出をたどりて	
			今永 文男	50漁	青鷹丸 (第II世) 竣工披露にあたり	
			五月女 雄二郎	54漁	研究練習船青鷹丸 (第II世) 竣工	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
742	1988.04.	無分類	大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (4)
741	1988.01.	無分類	大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (3)
					捕鯨問題の本音 (毎日新聞より)
740	1987.10.	無分類	中村 新七	33製	エチケツト
			嶋津 靖彦	14増大	特集・続 南水洋母船式捕鯨の栄光と苦悩
			渡辺 法華	6 漁大	調査捕鯨中止勧告に疑問
			松本 巖	46漁	水産教育史考 (3) 初期の教育科目・世論など
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (2)
		文藻	山下 利得	25製	明治42年の越中島風景 ・80年前の越中島風景画複製によせて
			花田 信次郎	27養	今も蘇る恩師の片鱗
			稲並 芳幸	31養	A 丸の B 船長
739	1987.07.	無分類	大垣 繁一	48漁	3月9日の東京大空襲
			倉田 洋二		藤森三郎先生と小笠原のアオウミガメ (元 小笠原水産センター所長)
738	1987.04.	無分類	森 和夫	39製	募金運動を終了して (東京水産大学後援会・創立100周年記念事業委員会 委員長)
			野村 稔	54増	母校の現況について (東京海洋大学 大学長)
					特集 南水洋母船式捕鯨の栄光と苦悩
			竹内 正一	7 漁大	南水洋母船式捕鯨 そのあゆみ
			蓮井 滋	47漁	南水洋母船式捕鯨 生産面
			田中 元樹	47製	南水洋母船式捕鯨 加工面
			磯 泰	3 漁大	南水洋母船式捕鯨 最終操業報告
737	1987.01.	無分類			東京水産大学創立百周年事業 募金中間報告 後援会ご寄付個人追加表
			上野 武夫	29製	北洋漁業と QC
			松本 巖	46漁	水産教育考 (2)
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東養鮑合名会社のアワビ養殖事業について (1)
			稲並 芳幸	31養	徳久三種氏と私
			酒向 昇	33漁	悪夢 シンガポールからの脱出秘話
736	1986.10.	無分類	相沢 喜雄	47聖	深川 photo レポート
					東京水産大学創立百周年事業 募金中間報告 後援会ご寄付個人追加表
			野口 祐三	5 増大	東京水産大学100周年記念募金について
			隈野 勇	31製	いわたしをもっと食べましょう
			松本 巖	46漁	水産教育史考 (1)
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東京湾におけるタイラギ, ミルクイ潜水器漁業の創始 (5)
			稲並 芳幸	31養	私と古着制服
735	1986.07.	無分類	森 長一郎	48養	紅葉にハヤを釣る……48会釣りクラブ
					東京水産大学創立百周年記念事業 募金中間報告 後援資金ご寄付法人・個人追加表
			海老名 謙一	23養	水産講習所物語 XXIV 岡村金太郎
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年一日東京湾におけるタイラギ, ミルクイ潜水器漁業の創始 (4)
734	1986.07.	無分類	稲並 芳幸	31養	歩み板
			松橋 鉄治郎	1 製大	海と山の輪廻 (その3)
					東京水産大学創立百周年記念事業 募金中間総括報告 ご寄付法人・個人中間総括表
			小山田 昌	4 漁大	4 回生の皆様へ 創立百周年記念事業募金について
			常政 威夫	4 製大	4 回生の皆様へ 創立百周年記念事業募金について
			三輪 邦彦	4 増大	4 回生の皆様へ 創立百周年記念事業募金について
			野村 稔	54増 (大学長)	東京水産大学百年史発刊について
			井上 実	49漁	「東京水産大学百年史」を飾る“写真”の提供をお願いします (百年史編集委員会委員長)
			海老名 謙一	23養	水産講習所物語 XXIII 伊谷以知二郎 8
			大西 英昭男	51漁	北朝鮮旅行記

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
735	1986.07.	無分類	大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—東京湾におけるタイラギ, ミルクイ潜水器漁業の創始 (3)	
			文藻	松沢 定五郎	25製	うま味の話
			花田 信次郎	27製	大正初期の隅田川下流界限	
			稲並 芳幸	31養	私の飲酒歴	
734	1986.04.	無分類			東京水産大学創立100周年記念事業	
					100周年を迎える我が母校の活性化を願う	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—東京湾におけるタイラギ, ミルクイ潜水器漁業の創始 (2)	
			洪 性坤	12漁大	鈴木前総理訪韓と韓日問題	
		文藻	松沢 定五郎	25製	銭湯記	
			稲並 芳幸	31養	宿直	
			酒向 昇	33漁	登与助 (シーボルトの絵師川原慶賀)	
松橋 鉄治郎	1 製大		海と山の輪廻 (その2)			
733	1986.01.	無分類	石山 礼蔵	36養	国際魚類研究会議を終えて	
			文藻	中村 新七	33製	外国語と私
			樋田 徹也	47漁	雲鷹丸の甲板上に想う	
			松橋 鉄治郎	1 製大	海と山の輪廻 (その1)	
732	1986.10.	無分類			東京水産大学創立100周年記念事業	
				鈴木 善幸	37養	後援資金募金ご寄付に対する御礼
				飯山 太平	16漁	後援資金募金ご寄付に対する御礼
				森 和夫	39製	後援資金募金活動について (創立100周年記念事業委員会委員長)
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—東京湾におけるタイラギ, ミルクイ潜水器漁業の創始 (1)	
			岡本 信明	22増大	カナディアンロッキーふるさと, アルバート見聞録	
		文藻	稲並 芳幸	31養	水産試験場勤めと自転車	
	牧 重昂	34漁	プロになれ			
731	1985.07.	無分類			東京水産大学創立100周年記念事業	
				鈴木 善幸	37養	後援会総会における挨拶
				森 和夫	39製	記念事業の趣旨について
				天野 慶之	36製	東京水産大学の現況
						100周年記念事業役員等名簿並びに推進組織図
				海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XXII 伊谷以知二郎 (7)
				大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—南部潜水夫発祥のきっかけとなった名護屋丸について
				斎藤 民夫	51漁	全国水産地域シンポジウムに賭ける
						小湊実験実習場移管
				天野 慶之	36製	閉所式における挨拶
				海老名 謙一	23養	小湊実験場の思い出
				菊池 荘弥	35養	小湊実験場の思い出
				宇野 寛	47養	小湊実験場の実習と研究
				服部 仁	51増	戦後初めての小湊実習—実習日誌からの回想—
				奥谷 喬司	2 増大	小湊の猪野先生・増田先生そして貝類
			小池 康之	14増大	小湊実験場雑感	
文藻	吉田 裕	26養	私の学校			
	稲並 芳幸	31養	魚釣りの経験			
	牧 重昂	34漁	外国駐在員			
730	1985.04.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XXI 伊谷以知二郎 (6)	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—三村小太郎と南部潜水夫の誕生 (2)—	
			酒向 昇	33漁	動物学の夜明け—外人お雇い教師・モースとホイットマン—	
		文藻	稲並 芳幸	31養	水産講話	
729	1985.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	賀詞	
			海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XX 伊谷以知二郎 (5)	
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—三村小太郎と南部潜水夫の誕生 (1)	
			酒向 昇	33漁	日本現代エビ学の恩人たち (続々) 5—菊池勘左エ門	
			奈須 敬二	2 漁大	鯨のはなし (4) —鯨と文明開化	
			根本 清	45養	中国江蘇省における技術指導の旅	
			蓮井 清	48養	「海外漁業協力を考える」の企画推進を—「楽水」728号特集を読んで—	
		文藻	中村 新七	33製	ウルグアイ国とモンテビデオの思い出	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
729	1985.01.	文藻	稲並 芳幸	31養	缶ビールと「detective」		
728	1984.10.	無分類	編集委員会		海外漁業協力を考える ――のぞましい未来のために――		
			野村 正恒	48漁	1, 海外漁業協力の理念と問題点		
			長野 茂	48漁	2, 現地適応の協力こそ		
			海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XIX 伊谷以知二郎 (4)		
			大場 俊雄	3 漁大	潜水器漁業百年 ――撃沈された潜水器船・第二大協丸――		
			酒向 昇	33漁	秋穂紀行 ――エビのメッカ――		
			松沢 定五郎	25製	「味」聞き書・其の後		
			松永 裕	10漁大	マデイエラの漁業事情		
			奈須 敬二	2 漁大	鯨のはなし (3) ――鯨捕り事始め――		
			1984.1.	文藻	稲並 芳幸	31養	嬉しくない役目
727	1984.07.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XVIII 伊谷以知二郎 (3)		
			大場 俊雄	3 漁大	潜水器漁業百年 ――専用漁業権設定期における器械根のアワビ潜水漁業――		
			酒向 昇	33漁	日本現代エビ学の恩人たち・続・(4) 中沢 毅一		
			花田 信次郎	27養	「海魚卵の発生と水温及び比重との関係について附 適温装置器供覧」妹尾秀美一が実現する迄		
			奈須 敬二	2 漁大	鯨のはなし (2) ――鯨とは――		
			秋野 洋一	49製	魚の切り方西東 ――リード型加工機の誕生		
		文藻	稲並 芳幸	31養	若気の至り		
			石山 礼蔵	36養	松原千代松先生見たまま聞いたまま		
			海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XVII 伊谷以知二郎 (2)		
			大場 俊雄, 今 関 昭博	3 漁大, 23漁大	潜水器漁業百年 ――千葉県布良村における潜水器採鮑業の創始と展開 (3)		
726	1984.04.	無分類	今関 昭博	23漁大	海洋汚染及び海上災害防止に関する法律の改正について		
			三富 亘	4 漁大	魚介類肉類等の都市別消費性向についての一考察		
			田口 喜三郎	37養	北極の魚		
			奈須 敬二	2 漁大	鯨のはなし (1)		
			文藻	牧 重昂	34漁	水産講習所の思い出 (吉良に生まれて75年より)	
				稲並 芳幸	31養	3人の漁業協同組合長	
		五十嵐 徹夫		32養	老人病		
		鈴木 善幸		37養	賀詞		
		725	1984.01.	無分類	岩本 康三	46養	楽水会訪韓団 (第2次) 報告
					海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 XVI 伊谷以知二郎 (1)
大場 俊雄	3 増大				潜水器漁業百年 ――千葉県布良村における潜水器採鮑業の創始と展開 (2)		
渡瀬 節雄	48漁				ショックと異常の1980年代 ――鱒の頭も信(身)心から――		
小倉 通男	51漁				漁海況情報の現状と将来		
為石 日出生	20漁大				水産における海況情報の現状と人工衛星の利用		
竹内 正一, 高 宮 勝広	7 漁大, 31漁生				漁獲量データベースの作成とその利用		
文藻	牧 重昂				34漁	吉良から水産講習所へ (吉良に生まれて75年より)	
	稲並 芳幸			31養	予算査定		
724	1983.10.			無分類	中村 新七	33製	草魚物語
		酒向 昇	33漁		日本現代エビ学の恩人たち (3)		
		大場 俊雄	3 漁大		潜水器漁業百年 ――千葉県布良村における潜水器採鮑業の創始と展開 (1)		
		渡瀬 節雄	48漁		エル・ニーニョ・エル・チヨン・エル異常気象		
		大岩 東助	30製		はるかなり, 国後島		
		文藻	花田 信次郎		27養	養殖27回生のプロフィール	
			五十嵐 徹夫	32養	4人の首相と私		
			根岸 吉郎	36製	人生あれこれ (その20・最終回)		
			海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 XV 2代 村田 保		
		723	1983.07.	無分類	酒向 昇	33漁	日本現代エビ学の恩人たち (2)
大場 俊雄	3 増大				潜水器漁業百年 ――日東養鮭合名会社の設立初期の事業 (2)		
中村 新七	33製				南米に鮭鱒牧場を!		
渡辺 清夫	52漁				企画機能と OA		
黒田 竹弥	38養				中国四川省の旅		
文藻	山本 弥六郎				33製	日本海の海の青さと魚の味	
	根岸 吉郎			36製	人生あれこれ (その19)		
	稲並 芳幸			31養	帆船について思い出すこと		
	塩谷 政徳			36漁	鈴木会長ご苦労さまでした		
722	1983.04.			無分類	塩谷 政徳	36漁	鈴木会長ご苦労さまでした

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
722	1983.04.	無分類	大越 俊作	51漁	鈴木善幸先生の今後に期待
			大坪 儀作	特会	“鈴木善幸会長を囲んで”の楽水会新年宴会に出席して
			編集委員会		“俵 孝太郎の政治月評”——鈴木首相の業績を洗い出して見れば——
			酒向 昇	33漁	日本現代エビ学の恩人たち (1)
		文藻	大場 俊雄	3 漁大	潜水器漁業百年——日東養鮑合名会社の設立初期の事業 (1)
			根岸 吉郎	36製	人生あれこれ (その18)
721	1983.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	魚名漢字便覧外 賀詞
			海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 XIV 2代 村田 保 9
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年——日東養鮑合名会社の設立——
			今関 昭博, 武	23漁大, 26漁大	船舶職員法の改正について
			田 誠一		
			久保田 穰	41製	内蒙古を訪ねて
		上野 武夫	29製	楽水誌の性格と方向	
		文藻	根岸 吉郎	36製	人生あれこれ (その17)
稲並 芳幸	31養		素人機関士		
井上 実	49漁		海鳴りの誌		
720	1982.10.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 XIII 2代 村田 保 8
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年——ウエットスーツのアマ漁業への導入 (3)
			増尾 到和	47養	海外技術協力の意義
文藻	根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その16)		
719	1982.07.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 XII 2代 村田 保 7
			西丸 震哉	48製	われわれの残り時間
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年——ウエットスーツのアマ漁業への導入 (2)
			山城 弘義	51漁	水産高校の現状と行方
			山田 栄次	34養	釜山水産大学訪問記
			根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その15)
718	1982.04.	無分類	久保田 穰, 山	41製, 34養	楽水会訪韓国報告——最近における韓国の水産事情
			田 栄治		
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年——ウエットスーツのアマ漁業への導入 (1)
		文藻	酒向 昇	33漁	海老の漢詩二篇
			根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その14)
			大坪 儀作	特会	年賀状の有難さ
伊藤 正伸	10漁大	聞き書き (メッカ巡礼)			
717	1982.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	年頭御挨拶
			海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 XI 2代 村田 保 6
			高木 和徳	50養	一匹の渴いた驢馬の門出—ランドドック理工科大学第3期課程学位審査を終えて
			大場 俊雄	3 増大	潜水器漁業百年—潜水夫の出稼ぎ—
		文藻	根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その13)
			佐藤 芳三		南の海で毒魚をくろう
稲並 芳幸	31養	南洋群島と南洋庁水産試験場			
716	1981.10.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 X 2代 村田 保 5
			大場 俊雄	3 増大	千葉県安房郡白浜村における水産講習所の海洋生物実習について (3)
			酒向 昇	33漁	古典俳画帖「海の幸」の海老
			渡辺 清夫	52漁	オフィスオートメーションの考察
			富岡 紀久	10漁大	越の色鯉
			根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その12)
		文藻	渡瀬 節雄		宏池会の歴史とその研究会
			稲並 芳幸	31養	水講学生との出会い
715	1981.07.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 IX 2代 村田 保 4
			大場 俊雄	3 増大	千葉県安房郡白浜村における水産講習所の海洋生物実習について (2)
			花田 信次郎	27養	臨海実習場としての高の島
		文藻	根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その11)
			山村 夏彦		早春の賦
714	1981.04.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語 VIII 2代 村田 保 3
			大場 俊雄	3 増大	千葉県安房郡白浜村における水産講習所の海洋生物実習について (1)

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
714	1981.04.	無分類	酒向 昇	33漁	シーボルトのウチワエビ <i>Phyllosoma</i> 幼虫——日本エビ学のルーツをさぐる——II		
			川上 雅之	28養	高の島で関東震災に会う		
			根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その10)		
		文藻	山田 栄次	34養	偶感		
			飯山 一伸	17製大	映画「慶明農場」を製作して		
713	1981.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	年頭御挨拶		
			海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語VII 2代 村田 保 2		
			大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年——カリフォルニア州における出稼ぎ日本人潜水夫と潜水免許証		
			酒向 昇	33漁	シーボルトのウチワエビ <i>Phyllosoma</i> 幼虫——日本エビ学のルーツ——		
			山本 忠	40養	200哩経済水域が西アフリカ沖の漁業に与えた影響		
			藤田 正	29養	高の島実験場に関する2, 3の資料		
			根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その9)		
		文藻	上野 武夫	29製	有賀松夫さんの手記に想う		
			岩崎 狷二	19漁	“魂の目覚時計” その役割		
			中村 新七	33製	水講時代の憶い出		
			編集委員		「鈴木総理を囲む会」		
712	1980.10.	無分類	森 和夫	39製	鈴木さん総理就任に際し一つの提案		
			山田 栄次	34養	鈴木内閣に期待する		
			大坪 儀作	特会	鈴木会長の内閣総理大臣御就任を祝して		
			梶山 玄之助	36製	越中島の善幸さん		
			石山 礼蔵	36養	一級友からみた鈴木善幸総理への期待と回想		
			金澤 忠一	50漁	鈴木総理・思い出すまま		
			文藻	上野 武夫	29製	アピールの足りない水産界——楽水誌に論壇を設けよ——	
				有賀 松夫		東支那海遭難紀	
		多賀 宗将		30製	——後記——		
		無分類	1980.07.	無分類	天野 慶之	製36	長寿と食物
					大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—潜水技術の定着—
小川 正是	15増大				ブラジル水産業の現況		
根岸 吉郎	37製				人生あれこれ (その七)		
711	1980.07.	無分類	稲並 芳幸	31養	宮妃殿下御来場		
			藤田 正	29養	佐々木孝太郎先輩 (2漁) を想う		
			海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語V—初代関沢明清		
			大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—潜水技術の定着の伝播—		
			飯高 勇之助	1漁大	ニュージーランド (NZ) さけのこと		
710	1980.04.	無分類	根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その6)		
			鈴木 善幸	37養	年頭御挨拶		
			佐々木 忠義	特会	学長退任のあいさつ		
			天野 慶之	製36	学長就任のことば		
709	1980.01.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語IV 初代 関沢明清		
			大場 敏彦	3増大	潜水器漁業百年——タイラギ潜水夫の恩師・砂山栄治郎		
			増尾 致和	47養	インドネシアの淡水養魚		
			外山 健三	50製	駢足でのぞいた中国の印象		
			根岸 吉郎	37製	人生あれこれ (その五)		
			海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語III 初代 関沢明清		
		708	1979.10.	無分類	大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—アワビとタイラギの万祝—
松沢 定五郎	25製				味覚え書 (3)		
仲村 正二郎	7漁大				ナマス談義		
大河原 正壮	18漁大				スリランカ国の漁業		
伊藤 正伸	10漁大				アラビヤ漁業体験記		
渡瀬 節雄	48漁				魚の王様 “ベヘレイ” との出会い		
酒向 昇	33漁				魚の苗宇水族館		
山根 高熙	48製				太陽と食物		
文藻	竹之内 彦四郎				31養	食用蛙と友情	
	金子 尚			34漁	北暑南寒		
山村 弥六郎	33製			思い出の先輩 (その一)			

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
708	1979.10.	文藻	根岸 吉郎	36製	人生あれこれ (その四)	
707	1979.07.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語Ⅱ 初代所長 関沢明清	
			大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—潜水夫の養成—	
			松沢 定五郎	25製	味覚え書 (2)	
			酒向 昇	33漁	エビと石油	
			根本 清	45養	タイの養鰻事情と将来性について	
		文藻	村上 義威	27養	自画自賛—余技の画業について—	
		稲並 芳幸	31養	食用蛙		
706	1979.04.	無分類	海老名 謙一	23養	水産伝習所長物語Ⅰ 初代 関沢明清	
			大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—ふかし療法の開発—	
			増尾 致和	47養	カスビ海の魚類	
			池ノ上 宏	12増大	発展途上国の水産開発を考える	
			上野 武夫	29製	3カイリの北洋 (その7)	
			松沢 定五郎	25製	味. 覚え書	
		福田 博業	36養	有機性廃棄物による海中施肥 (提案)		
文藻	村上 義威	27養	八丈島行 (2)			
稲並 芳幸	31養	閑日二題				
705	1979.01.	無分類	大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—続・アワビの大漁うた—	
			上野 武夫	29製	3カイリの北洋 (その6)	
			浜田 尚雄	51漁	赤潮雑感	
			川村 厚生	47養	植物食性魚テラピア・ニロチカ養殖の意義	
			鳥羽山 照夫	6増大	マンボウ飼育雑記	
		文藻	稲並 芳幸	31養	漁業帆船金華山丸	
大坪 儀作	特会	大東亜戦争の回顧				
704	1978.10.	無分類	大場 俊雄	3増大	潜水器漁業百年—その創業の頃—	
			前田 吉彦	7増大	量産なったミミズの利用	
			上野 武夫	29製	3カイリの北洋 (その5)	
			文藻	松沢 定五郎	25製	煙草の灰
		村上 義威	27養	八丈島行 (1)		
		稲並 芳幸	31養	転倒骨折記		
		多田 稔	50製	「謡曲」に見られる水産関係の言葉 (2)		
大坪 儀作	特会	大東亜戦争の回顧 (4)				
703	1978.07.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語X 松原新之助 10	
			神田 献二	45漁	海鷹丸の南極洋オキアミ調査航海	
			田中 和夫	44製	オキアミの利用・加工	
			宝谷 英生	49遠	海鷹丸での南極海	
			荒井 国雄	7漁大	第1回母船式沖あみひき網企業化調査事業に参加して	
			奈須 敬二	2漁大	オキアミ資源の開発をめぐる国際環境	
			文藻	山下 利得	25製	御宿遊記—メキシコ記念塔を訪ねて—
		上野 武夫	29製	3カイリの北洋 (其の四)		
		村上 義威	27養	夢を追う日 (6)		
		大坪 儀作	特会	大東亜戦争の回顧 (3)		
稲並 芳幸	31養	その頃の深川門前仲町界隈				
小淵 元吉	29漁	越中島懐古				
多田 稔	50製	「謡曲」に見られる水産関係の言葉 (1)				
702	1978.04.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語IX 松原新之助 9	
			高橋 善弥	54増	北洋の漁業資源	
			佐野 蘊	2増大	北洋のサケ・マス, 海鳥そしてイルカ	
			徳井 利信	45養	鬼怒川へのサクラマス放流によせて	
			野村 正恒	48漁	漁撈研究を強化しよう—英国の研究現状に鑑みて	
			上野 武夫	29製	サケ, マス人工孵化事業に関する田口喜三郎氏の提言によせて	
			文藻	大坪 儀作	特会	大東亜戦争の回顧 (2)
			村上 義威	27養	夢を追う日 (5)	
		上野 武夫	29製	3カイリの北洋 (其の三)		
		稲並 芳幸	31養	養魚場主任		
701	1978.01.	無分類	塩谷 政徳	36漁	200海里時代に自信をもとう	
			海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (VIII) 松原新之助 8	
			石若 金吾	44製	塩干品について	
			奈須 敬二	2漁大	おきあみ資源の開発について	
			浜田 尚雄	51漁	栽培漁業種苗放流雑感	
			川上 雅之	28養	貝塚から観た広島太田川デルタの漁場変移について	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名	
701	1978.01.	無分類	植松 正	7 養専	我が国に於いて今後取るべき養殖事業に関する対策と諸問題について	
			文藻	上野 武夫	29製	3カイリの北洋 (其の二)
		稲並 芳幸		31養	金沢実習場の跡を訪ねる	
		村上 義威		27養	夢を追う日 (4)	
		大坪 儀作	特会	大東亜戦争の回顧		
700	1977.10.	無分類	鈴木 善幸	37養	巻頭言	
			佐々木 忠義	特会	大学の近況について	
			関根 隆	27養	新海洋法時代を迎えた日本の漁業	
			鶴田 三郎	32漁	国連海洋法会議と国際漁業の確立 (200カイリ漁業水域時代の日本漁業)	
			五十嵐 徹夫	32養	200哩漁業水域の社会的意義	
			増田 正一	35漁工	200哩時代を迎えて	
			今村 豊	36漁	200海里への対応の一案	
			福田 博業	36養	200海里時代への再出発	
			渡瀬 節雄	48漁	200カイリ時代への反省と対応	
			田口 喜三郎	37養	サケ・マス人工孵化事業の一元管理・推進を訴える	
			植松 正	7 修養	瓜哇島名フィッシュムジャイル (テラビヤ属ニロチカ科) 種苗生産並に養殖に就いて	
			天野 慶之	36製	楽水編集のおもいで	
			稲葉 伝三郎	28養	編集の思い出	
			今村 豊	36漁	編集に想う	
			藤田 正	29養	700号発行に思う	
			大坪 儀作	特会	楽水700号発刊に寄せて	
			編集委員会		楽水放談会	
			編集委員会		楽水誌の変遷	
			699	1977.07.	無分類	海老名 謙一
松本 巖	46漁	日ソ漁業関係小史 (完)				
居城 力	40漁	中米とその漁業				
文藻	山村 夏彦				若狭路の春秋	
	稲並 芳幸	31養			その年のこと	
698	1977.04.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (VI) 松原新之助 6	
			松本 巖	46漁	日ソ漁業関係小史 (5)	
			西丸 震哉	48製	南半球異常現象調査を終えての所感	
		文藻	朴 一天		快鷹丸遭難の実況談	
			村上 義威	27養	夢を追う日 (2)	
稲並 芳幸	31養	漁船の食事				
697	1977.01.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (V) 松原新之助 5	
			松本 巖	46漁	日ソ漁業関係小史 (4)	
			渡瀬 節雄	48漁	わが国水産業の未来展望	
			斎藤 治郎左衛門	48漁	国際協同組合同盟 (International Co-operative Alliance. ICA) と私	
		文藻	村上 義威	27養	夢を追う日	
			上野 三山	29製	北應吟社とその残像	
稲並 芳幸	31養	北海道実習見学旅行				
696	1976.10.	無分類	朴 一天		楽水親睦・快鷹丸遭難記念碑	
			海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (IV) 松原新之助 4	
			松本 巖	46漁	日ソ漁業関係小史 (3)	
			黒田 竹弥	38養	温排水による水産増養殖について	
			大場 俊雄	3 増大	アワビの大漁うた	
			文藻	稲並 芳幸	31養	北條・館山の町
				上野 武夫	29製	谷本将軍
山村 夏彦		寺田寅彦先生の思い出				
藤田 正	29養	ひとりしずか				
695	1976.07.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (III) 松原新之助 3	
			佐野 溼	2 増大	サケ・マス論議の使いをして	
			松本 巖	46漁	日ソ漁業関係小史 (2)	
		文藻	稲並 芳幸	31養	夏の実習と丸川久俊先生	
			上野 武夫	29製	松谷ガンケの光芒	
田岡 嶺雲		水産伝習生 (明治文学全集96明治記録文学集数奇傳より)				
694	1976.04.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (II) 松原新之助 2	
			川上 雅之	28養	出雲ウップルイ海苔と広島えびら海苔との関連について	

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名		
694	1976.04.	無分類	本庄 鉄夫	48養	北海道のアマゴのこと		
			松本 巖	46漁	日ソ漁業関係小史 (1)		
		文藻	稲並 芳幸	31養	日暮忠先生		
			上野 武夫	29製	加川退蔵氏の煙草哲学		
693	1976.01.	無分類	海老名 謙一	23養	水産講習所長物語 (I) 松原新之助 1		
			外海 政治	51増	餌料用冷凍魚の解凍と解凍汚水の処理装置		
			周耀然, 郭欽敬		台湾の水産事情について		
			シバリンガム		マレーシア漁業とその経済成長ならびに蛋白源に対する将来の展望		
			P. Bensam		東京水産大学は水産のパイオニアである		
		春日 ルイス	11漁大	メキシコより			
		文藻	稲並 芳幸	31養	暮から正月にかけての思い出		
			上野 武夫	29製	ある老船頭の話		
692	1975.10.	無分類	渡瀬 節雄	48漁	水産日本の終幕を救う道		
			福所 邦彦	13増大	マダいの養殖		
			桑 守彦	13増大	CHIBA TO DUBAI 航海記		
			セイン・ルイン	大学院生	ビルマの魚名と和名の対比 (3)		
		文藻	荒井 福子, 上野 武夫		福水会天龍峡大会行 (福水雑記21)		
					上野 武夫	29製	日本民族の箱庭性 (福水雑記22)
					荒井 虎之助	29製	関東大震災の時 (福水雑記23)
691	1975.07.	無分類	事務局		薬水会の福祉について		
			大澤 武夫	40養	液化ガスによる冷海水製造装置		
			谷村 精史	44漁	長崎水産高校の体質改善について		
			セイン・ルイン	大学院生	ビルマの魚名と和名の対比 (2)		
文藻	稲並 芳幸	31養	水講学生の制帽				
690	1975.04.	無分類	福田 博業	36養	遊漁と漁業のあいだ (下)		
			川上 雅之, 日下部 台次郎	28養, 28養	八重筈漁業が広島かきと海苔養殖法の開発に与えた効果について		
			セイン・ルイン	大学院生	ビルマの魚名と和名の対比 (1)		
		文藻	大林 日出雄		特別寄稿 柳 檜悦		
					村上 義威	27養	卒業式の記
					稲並 芳幸	31養	私の受験と1枚のポスター
			上野 武夫	29製	早春北海道雑詠 (福永雑記18)		
689	1975.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	新年のことば		
			浅野 好治	51漁	海外におけるエビ漁業の概観		
			名和 二郎	50漁	中南米方面のエビ漁業		
			大賀 信夫	50漁	インド, アフリカ方面のエビ漁業		
			宮本 幸久	1漁大	オーストラリア, 西イリアン方面のエビ漁業		
			黒沼 勝造	33養	東南アジア方面のクルマエビ類の生態と養殖		
			齋藤 治郎左衛門	32製	国連海洋法会議に出席して		
						岡崎 義郎	41漁
688	1974.10.	無分類	蓮井 滋	47漁	捕鯨雑感		
			前田 吉彦	7増大	ミミズの養殖とその利用について		
			福田 博業	36養	遊漁と漁業のあいだ (上)		
			川上 雅之, 八木 享一	28養, 33養	水力発電事業と遡河性魚族との障害問題		
						事務局	
			五十嵐 徹夫	32養殖	国際環境の変動にともなう水産業界の在り方		
			荒木 正邦	18漁大	国際環境の変動にともなう水産業界の在り方		
686	1974.03.	無分類	小寺 確郎	35漁	巻頭言 副会長就任に当たって		
			編集部		白鷹丸追悼特集にあたって		
			渡辺 東雄	25漁	ああ! 白鷹丸		
			安原 良男	27漁	白鷹丸お想出		
			在原 千秋	32漁	ああ! 白鷹丸		
			齋藤 宗一	32養殖	白鷹丸を憶う		
			小坂部 勇	35製	白鷹丸と私		
			佐々木 幸康	40漁	白鷹丸のことも		
			桑 守彦	13増大	石油資源問題と環境汚染問題を同時に解決する一構想		
			福田 博業	36漁	公害の論理-1, 有害と有益の限界 セレンを例として		
685	1974.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	新年のことば		

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
685	1974.01.	無分類	富山 哲夫	28養	6年の任期を終えて
			佐々木 忠義	特会	学長就任のごあいさつ
			斎藤 治郎左衛門	32製	年頭所感
			石川 貞二	53増	観光開発と沿岸漁業
684	1973.10.	無分類	石山 礼蔵	36養	副会長就任にあたり
			鈴木 順	35養	遊漁の実態 (II)
			福田 博業	30養	さかなの汚染騒動におもう (下)
			鈴木 秋果	東海区水産研究所	マグロの水銀汚染問題について
			吉田 多摩夫	5増大	汚染の現況とその問題点
683	1973.08.	無分類	竹田 繁夫	32漁	副会長就任にあたり
			福田 博業	30養	さかな汚染騒動におもう (上)
			山口 琳三	52製	ニッコー油事件に想う
682	1973.06.	無分類	鈴木 順	35養	遊漁の実態 I
			伊藤 威雄	28漁	巻頭言 楽水会寸感
			中村 新七	33製	領海200哩の執念
681	1973.03.	無分類	富山 哲夫	28養	巻頭言 パイプ
			辻満 雅規	6増大	種苗アワビのこと
			松永 繁	14増大	栽培漁業について
			毛利 重之	26製	地中海遊記
			居城 力	40漁	メキシコの印象 (第4話)
680	1973.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	年頭の御挨拶
			村上 義威	27養	新しい年・そして厭わしい世相
			古谷 清	52漁	年頭にあたって、現場から
			山本 正三	37養	水産の非科学性
679	1972.10.	無分類	天野 慶之	36製	水産研究について
			石井 俊雄	53増	うなぎの人工催熟について
			三富 亘	4漁大	東京都における魚介類の家庭用および業務用消費量の推計
			吉原 友吉	37製	水産映画について (2)
			居城 力	40漁	メキシコの印象 (第3話)
			深津 吉郎	37養	"Save Our Sea"
678	1972.08.	無分類	鈴木 順	35養	海外エビ漁業雑感
			佐野 瀧	2増大	さげ資源論議雑感
			松永 順夫	3増大	水産高等学校教育に関する断章—その3 (完)
			勝呂 誠	4漁大	海をきれいにしておきたい
			吉原 友吉	37製	水産映画について (一)
			居城 力	40漁	メキシコの印象 (第2話)
			福所 邦彦	13増大	長崎県水産試験場増養殖研究所紹介
			小寺 確郎	35漁	巻頭言 遠洋漁業の将来に憶う
			田口 喜三郎	37養	昭和50年度通常総会ご案内及び60年までの世界の漁業発展に対する展望
677	1972.06.	無分類	大西 英昭男	51漁	兵庫県北部の日本海沖合イカ釣漁業
			佐藤 極	34漁	ペルー見たり聞いたり味わったり
			居城 力	40漁	メキシコの印象 (第1話)
			酒井 檉	25養	新聞を読んで思う
			増田 正一	35漁	巻頭言 時局に憶う
			松永 順夫	3漁大	水産高等学校教育に関する断章 (2)
			宮崎 千博	36漁	潜水艇・潜水技術
676	1972.03.	無分類	渡辺 久	50漁	アジア・ヨーロッパの教育事情について
			山田 栄次	34養	快鷹丸遭難記念碑の復元成る
			鈴木 善幸	37養	年頭の御挨拶
			奥村 伊三郎	12漁	歓呼新年
			本部 真之	32漁	偶感
			藤原 一徳	36製	新春に思う
			松永 順夫	3増大	水産高等学校教育に関する断章 (1)
675	1972.01.	無分類	服部 昭	13漁大	マグロ延縄漁業と労働科学
			佐野 和生	2漁大	公害問題について思うこと
			矢吹 輝男	43養	適正規模経営学の話
			内田 忠男	48漁	シャチに賭ける
			毛利 重之	26製	ノルウエーの旅
674	1971.10.	無分類	藤田 正	29養	ほんだな—御木本幸吉—
			福田 博業	36養	公害評論 (下)
			福田 博業	36養	公害評論 (下)

掲載号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名			
672	1971.08.	無分類	杉田 昭夫	6 漁大	海洋汚染の現状			
671	1971.08.	無分類	吉井 努	19増大	沿岸漁業構造改善事業と沿岸漁業の将来			
670	1971.06.	無分類	福田 博業	36養	公害評論 (上)			
			栗坂 誠一	6 漁大	北伯漁業概況			
			蛭川 虎三	20養	トップに聞く (第3回)			
669	1971.03.	無分類	鈴木 善幸他	37養	50周年記念事業特集記事「水産業50年のあゆみと今後の課題」			
			吉原 友吉	37製	欧米の漁港と魚市場など			
			安部 俊策	51増	賃金の高騰と経営対策			
668	1971.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	年頭のご挨拶			
			遠藤 秀夫	47製	即席ラーメン物語			
			平野 起		世界各地で頑張る日本漁船員に感謝して			
667	1970.10.	無分類	渡瀬 節雄	48漁	技術予測			
			小俣 秀夫	6 製大	食肉製品消費の多様化と教育			
			山本 祐四郎	52漁	企業と広告—人間性回復をめざした最近のPR—			
666	1970.08.	無分類	松沢 修	52漁	シーマンスピリット, 加うるにナチュラルサイエンスを イングリッシュを			
			織田 善幌	5 製大	人手不足と経営 (その一)			
			長谷川 漸成	37製	ヨードの歴史			
665	1970.06.	無分類	松本 兼治	51製	八つ当たり談義—1 缶詰業者のチクロに対するウップン—			
			南 博	一橋大学教授	ビジネスマンと生きがい—職場における心理学—			
			栗坂 誠一	6 漁大	北伯赤物漁業に対する一考察			
664	1970.03.	無分類	高木 和徳	50養	教育についての断想			
			高木 政治	51増	可搬式組立て魚礁への一考察			
			大石 宰平, 藤田 正, 今村 豊, 田口 喜三郎, 森 長一郎, 高木 和徳, 古谷 清, 今野 健二郎, 鶴岡 忠, 樋口 栄二, 松崎 清 (記録)	27漁, 29増, 36漁, 37増, 48増, 50増, 52漁, 52増, 2 製大, 3 漁大, 51漁	座談会 楽水会の運営と機関誌のあり方について			
			渡瀬 節雄	48漁	1970年代のわが国海洋開発の展望			
			663	1970.01.	無分類	鈴木 善幸	37養	年頭のご挨拶
						富山 哲夫	28養	母校の近況
						富山 哲夫	28養	年を落すまい
			662	1969.10.	無分類	河端 俊治	44製	危険な食品と安全な食品 (2) —添加物の乱用と自然食品—
						奈須 敬二	2 漁大	海の資源
						河端 俊治	44製	危険な食品と安全な食品 (1) —食品添加物の安全性について—
661	1969.08.	無分類	橋本 常隆	特会	缶詰と共に54年			
			楽水会		楽水会基本金の現状と基本金蓄積寄付募集について			
			鈴木 善幸	37養	会長就任の挨拶			
660	1969.03.	無分類	田口 喜三郎	37養	日本水産業の将来とその対策について			
			久木田 寛禧	31養	星一氏と凍結乾燥食品			
			石黒 庚成	33漁	スペインの水産事情			
659	1969.03.	無分類	吉田 裕	26養	貝類呼称考			
			西丸 震哉	48製	ニューギニアの原始食人族を求めて			
			江副 元三	14製	学生相撲の横綱と塩鱈			
658	1969.01.	無分類	富山 哲夫	28養	母校の近況と将来の計画			
			杉沢 康久	4 漁大	深海潜水のためのヘリウム酸素混合気体使用に関する一般的な考察			
			居城 力	40漁	トルコ (その二)			
657	1968.10.	無分類	寺瀬 経夫	35製	コロナ放電による新しい電気脱臭装置			
			福田 博業	36養	水産学と水産業			
			居城 力	40漁	トルコ (その一)			
656	1968.08.	無分類	川名 武	25養	東京湾の落カイズについて—標識放流の結果から—			
			石黒 庚成	33漁	中華民国台湾省というところ			
			五十嵐 徹夫	32養	外国人の生態			

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
656	1968.08.	無分類	橋本 常隆	特会	製缶二題
655	1968.06.	無分類	奈須 敬二	2 漁大	漁獲統計からみた世界における捕鯨業の変遷
			中村 新七	37製	アルゼンチン寸話
			五十嵐 徹夫	32養	ラオス国をたづねて
654	1968.03.	無分類	賀田 不二雄	49漁	海外旅行で思いついたまま
			まん坊		“たにし”のたわごと
			松本 保市	44漁	USAの水産法制事情
653	1968.01.	無分類	村山 敏三	16漁	年頭の辞
			中村 新七	37製	アルゼンチンの領海と外国漁船の操業
			塚原 貞三郎,	43漁, 7増大	東アフリカ・タンザニア国の水産概況
			若松 豪		
			松本 保市	44漁	USAの各州漁業法典抜粋一覧表 第1回 Oregon州
			渡瀬 節雄	48漁	海外漁業開発に関する提案
			石川 貞二	53増	鳥羽市に現れた赤変カキ
			葛城 忠夫	15漁	人口問題と水産業の未来図
652	1967.10.	無分類	梶田 与之亮	24養	たらば蟹人工孵化事業実施方を提唱する
			三宅 昇	35養	ペルシャ湾トロール漁業に就いて思うこと
			上田 大吉	36漁	エビと海外漁業
			名和 二郎	50漁	ダブルリグ漁法
			松本 保市	44漁	USAにおける漁業委員会とその委員
			葛城 忠夫	15漁	人口問題と水産業の未来図
			五十嵐 徹夫	32養	ラオス見たり, 聞いたり
651	1967.08.	無分類	石野 誠	51漁	海鷹丸第32次航海雑記
			中村 新七	33製	アルゼンチンの水産事情
650	1967.06.	無分類	福田 博業	36養	ロケットと漁民
			鈴木 権次郎	31養	南ベトナムの養魚事情雑想
			松本 巖	46漁	戦後漁業年史 (4)
649	1967.03.	無分類	福田 博業	36養	『ある養魚家の記録』福田源衛とスッポン
			松本 保市	44漁	USA水産業基本法の概観
			小山 武夫	51漁	ソ連大型トロール船に乗船して
648	1967.01.	無分類	松沢 定五郎	25製	魚鱗箔雑記 (2)
			松本 巖	46漁	戦後漁業年史 (3)
			白井 祥平	4 増大	海中公園の話
			渡辺 高	48製	公害としての悪臭ガスの処理法
647	1966.10.	無分類	松沢 定五郎	25製	魚鱗箔雑記 (1)
			松本 巖	46漁	戦後漁業年史 (2)
			織田 善愷	5 製大	水産と会計資料について (2)
			河端 俊治	44製	食品添加物への関心——続・食品衛生雑記帳
646	1966.08.	無分類	山村 夏彦		三陸沖にサンマ群を追うの記
			松本 巖	46漁	戦後の漁業史 (1)
			寺田 貞夫	4 漁大	漁船運用学コースの行方を案ず
			渡瀬 節雄	48漁	水産技術士と水産部会
			矢吹 耀男	43養	コンサルタントの現状 とくに技術士について
			海老名 謙一	23養	かつおの斑紋
645	1966.06.	無分類	黒沼 勝造	33養	海鷹丸太平洋横断の記 (1)
			織田 善愷	5 製大	水産と会計資料について (1)
			山口 勝衛	17漁	田口君のご意見に賛意を表す
644	1966.03.	無分類	小長谷 庸夫	2 漁大	水中音と漁業
			井上 実	49漁	ニューハンドランド外人講師の記
			河田 和光	8 漁大	我ら風格ある海洋の王者たらん (3)
			山口 裕一郎	49遠	漁業練習船運航についての私案
643	1966.01.	無分類	田口 喜三郎	37養	サケ人工孵化事業の将来について
			矢吹 耀男	43養	成果配分給与に関する経営工学的考察
			佐野 蘊	2 増大	カムチャツカ
			水谷 漣	51製	桑名の蛤について
			河田 和光	8 漁大	我ら風格ある海洋の王者たらん (2)
			小沢 敬次郎	45漁	海鷹丸の南への航海から
642	1965.10.	無分類	吉原 友吉, 菊	37製, 13漁大	漁港岸壁長の決め方
			池 孝有		
			矢吹 耀男	43養	能率給の経営工学的考察
			笠松 彌一	9 漁	年寄りの冷や水
641	1965.08.	無分類	山村 勇彦		三陸沿岸南部探訪記
			佐野 蘊	2 増大	人工ふ化さけ稚魚の給餌放流について

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
641	1965.08.	無分類	酒井 吞水		健康と食物
			河田 和光	8 漁大	我ら風格ある海洋の王者たらん (1)
640	1965.06.	無分類	白井 祥平	4 増大	インドネシアの真珠貝資源
			居城 力	40 漁	トルコプロ探訪記
			北川 政次郎	12 製	魚肉ソーセージ物語
639	1965.03.	無分類	古谷 清	52 漁	まぐろ漁業の合理化について (2)
			黒子 三良	53 漁	漁業の近代化と水産高校漁業科教育の体質改善についての私見
			保科 正行	1 漁大	食料品流通機構の革新について
638	1965.01.	無分類	佐野 蘊	2 増大	カラフト漁業の現状
			北川 政次郎	12 製	岡村博士と整理の問題
			古谷 清	52 漁	まぐろ漁業の合理化について (1)
637	1964.10.	無分類	河端 俊治	44 製	食品衛生雑記帳
			山口 芳男	36 漁	大学における水産教育についての私見
636	1964.08.	無分類	小沢 敬次郎	45 漁	西オーストラリア航海から
			佐野 蘊	2 増大	ソ連邦極東におけるさけ、ますそ上親魚量の観測について
			田口 喜三郎	37 養	日ソ漁業条約改定についての意見
			北川 政次郎	12 製	黒龍江での遭難
			酒井 吞水		東京五輪に思う
635	1964.06.	無分類	中島 薫一郎,	10 製, 13 漁	高崎前会長の思い出
			伊東 猪六		
			星野 直太郎,	17 製, 26 製	高崎前会長の思い出
			毛利 重之		
			関根 隆, 外村 達三, 森井 瓊夫	27 養, 34 製, 36 製	高崎前会長の思い出
			天野 慶之	36 製	受売り羅馬紀行
			大西 英昭男	51 漁	楽水会通常総会に出席して
634	1964.03.	無分類	佐野 蘊	2 増大	サハリンのサケ・マス人工ふ化放流
			山本 忠	40 養	FAO 統計専門家会議に出席して
			山田 栄次	34 養	水産教育に関する私見
633	1964.01.	無分類	野村 正恒	48 魚	スーダンのあれこれ
			徳井 利信	45 養	湖沼と水産あれこれ
			福田 博業	36 養	再び大学における水産教育について
			北川 政治郎	12 製	正覚坊の思い出
632	1963.10.	無分類	久野 力	12 漁大	ブラジル東北部をみて—実習調査記録—
			吉原 友吉	37 製	宇美加米考 (一)
			山田 栄次	34 養	沖縄紀行
631	1963.08.	無分類	渡辺 一	32 養	養漁池の画期的な水質改善について
			北川 政次郎	12 製	平凡なる学生々活を顧みて
			城山 正三	27 漁	登山とは山に登って降りて来る事である
			横田 実久	52 漁	特許公報
			吉田 裕	26 養	ほんだな—台湾の水産事情—
630	1963.06.	無分類	海老名 謙一	23 養	南極洋のオキアミについて
			川田 三郎	36 漁	西パキスタンの漁業事情について
			矢吹 耀男	43 養	水産油脂技術史
629	1963.03.	無分類	野村 正恒	48 魚	欧州におけるトロール網の概要
			真野 俊雄	40 漁	ベーリング海の母船式底魚漁業
			山本 祥吉	13 製	鯉と私
628	1963.01.	無分類	川田 三郎	36 漁	「ポンプ」で魚を漁る
			福田 博業	36 養	大学における水産教育の体質改善について
			鈴木 達三	37 漁	エーデン (Aden) の一般事情と其の漁業
			稲葉 伝三郎	28 養	香港新界および台湾の淡水養殖事情
			渡辺 久	50 魚	水産講演会開催について
			笠松 彌一	9 漁	古川柳と水産物 (四)
627	1962.10.	無分類	小沢 敬次郎	45 漁	海鷹丸第18次練習航海記
			百川 嘉博	36 漁	最近におけるマラヤ連邦とその漁業事情
			笠松 彌一	9 漁	古川柳と水産物 (三)
626	1962.08.	無分類	海老名 謙一	23 養	南極洋の鯨島—サウス・ジョウジア島の印象
			真野 俊雄	40 漁	南氷洋捕鯨国別割当の経緯
			笠松 彌一	9 漁	古川柳と水産物 (二)

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
625	1962.05.	無分類	齋藤 治郎左衛門	32製	水産加工行政の現状と将来の問題点
			佐久間 昌次・蓮井 清	43養・48養	万石浦の種がき生産に関する二・三の考察
			真野 俊雄	40漁	南氷洋捕鯨国別割当・その後の経過
			笠松 彌一	9 漁	古川柳と水産物 (一)
624	1962.03.	無分類	佐野 蘊	2 増大	オゼルナヤ系ベにぎけについての補注
			安田 秀明	特会	うろこと共に二十年
			松井 佳一	17養	米大陸旅行の思い出
			真野 俊雄	40漁	南氷洋捕鯨国別割当の発端
623	1962.01.	無分類	佐野 蘊	2 増大	ソ連邦極東漁業の視察記 とくにさけ・ます資源の現状について
			山本 祥吉	13製	同窓と化学調味料
			稲並 芳幸	31養	三陸沖の調査実習追懐記 (丸川久俊先生と日比義三船長を偲んで)
			天野 慶之	36製	4年ぶりのアメリカ
622	1961.10.	無分類	居城 力	40漁	マラヤとその漁業
			福田 博業	36養	鮮魚貝類による食中毒、特に病原性好塩菌中毒について
621	1961.08.	無分類	黒沼 勝造	33養	地域的魚類誌14編の紹介
			稲並 芳幸	31養	講習所に入學した頃のこと
620	1961.06.	無分類	野村 正恒	48魚	歴史的発達経過より見たる大羽イワシ刺網漁具とその現状
			久保 伊津男	36養	米国におけるクルマエビ漁業資源
619	1961.03.	無分類	小沢 敬次郎	45漁	海鷹丸第15次インド洋方面練習航海記 (1)
			吉原 喜久一	36養	経営戦略と漁業 (その2)
			石川 義生	51漁	私本水産外誌
618	1961.01.	無分類	石山 礼蔵	36養	渡米前夜
			津守 貞子	7 増大	南氷洋に於ける捕鯨の現況
			蓮井 清	48養	養殖生物の密漁は窃盗に該当するか (養殖の定義)
617	1960.10.	無分類	吉原 喜久一	36養	経営戦略と漁業
			外村 達三	34製	インドネシアの水産事情に就いて
			川田 三郎	36漁	さかな吸揚ポンプ
			矢吹 耀男	43養	缶詰工業の経営分析
616	1960.08.	無分類	田口 喜三郎	37養	サケの交尾
			大場 俊雄	3 増大	愛媛県における真珠養殖事業
			大津 昭一郎	2 漁大	稲田養鯉村の社会学一事例研究
			清水 健二	7 増大	鰻船積輸送試験報告
			三島 康雄	特会	水産企業経営史研究者の悩み
615	1960.05.	無分類	小沢 敬次郎	45漁	海鷹丸第12次南米方面練習航海記
			川上 太左英	35製	ペバートン、ホルトの水産資源論
			奈須 敬二	2 漁大	鯨の話
			松本 巖	46漁	水産研究の一側面 (続)
614	1960.03.	無分類	高橋 利治	46漁	照洋丸第7次航海経過概要
			小沢 敬次郎	45漁	海鷹丸第12次南米方面練習航海記
			山本 忠	40養	東アフリカの旅
613	1960.01.	無分類	近藤 恵一	1 増大	魚類の年令
			黒子 三良	53漁	漁場内の鯉群動態について
			川上 雅之	28養	漁業補償金算定について
			天野 慶之	36製	土耳其アレこれ
612	1959.10.	無分類	高橋 利治	46漁	照洋丸第六次欧州方面航海記
			峯村 三郎	特会	日本語の起源という問題
			平野 義見	34養	カムチャッカ訪問記
			川田 三郎	36漁	Fish-pump
			黒沼 勝造	33養	カナダ講演旅行ノート
611	1959.08.	無分類	藤本 政男	19養	人工湖の陸封鮎新生への興味
			大滝 侃市	51漁	船尾式トロールについて
			大海原 宏	5 漁	水産技術に関する覚え書
			松本 巖	46漁	日本水産学会誌よりみた水産研究の一側面
610	1959.05.	無分類	石黒 庚成	33漁	ペルー共和国の水産事情
			梶山 亥之助	36製	キューバの事情
			増尾 致和	47養	ニュージーランドの水産事情
			石山 礼蔵	36養	耕洋丸訪米処女航海私記
			奈須 敬二	2 漁大	北洋の鯨

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
610	1959.05.	無分類	滝口 佐左エ門	39漁	米国の水産事情に就いて
609	1959.03.	無分類	小沢 敬次郎	45漁	海鷹丸第9次ニュージーランド、豪州方面航海記
			外海 政治	51増	愛媛県より三重県までの真珠稚貝輸送事業について
			村上 兄一	特会	不知火は今日も果たして出願しつつありや
608	1959.01.	無分類	飯山 太平	16漁	海外漁業について
			奈須 敬二	2 漁大	北水洋調査航海記
			平野 義見	34漁	ソ連極東漁業視察旅行雑記
			井田 家基	53漁	近く開かれる主要水産国際会議について
607	1958.11.	無分類	山本 忠	40養	インド見てある記
			以登田 誓三	53漁	ベトナム事情
606	1958.09.	無分類	小坂部 勇	35製	分別凝固並びに低温煮熟法による蟹缶詰の青変防止に関する研究
			多田 稔	50製	江戸川の汚水問題について
605	1958.06.	無分類	河端 俊治	44製	アメリカ徒然草
			鈴木 操	24漁	ソ連事情
			田口 喜三郎	37養	モスクワ案内
603	1958.03.	無分類	加藤 坦	34漁	セイロン事情
			天野 慶之	36製	私家版アメリカ旅行案内
			茂貫 雅義	29製	東南アジアの足音
			今野 健二郎	52増	海鷹丸乗船記
602	1958.01.	無分類	吉坂 象二郎	30製	七つの海を渡る七色の真珠
			上田 大吉	36漁	印度に於る漁業経営に従事して
			伊東 猪六	13漁	私の悲願
			茂貫 祥次	29製	ビルマ事情
601	1957.11.	無分類	新野 弘	29養	南北アメリカ沿岸漫歩記
			武富 一	52漁	水の海を行く船と題する遺構から
			奈須 敬二	2 漁大	南水洋捕鯨旧禁止区域の鯨について
			三宅 昇	35養	再びイランに就いて
			波多野 幸太郎	43養	佐久地方の稲田養鯉
			奥田 薫	1 漁大	南米の水産事情
600	1957.09.	無分類	井村 幸二	50漁	ソビエトの旅
			天野 慶之	36製	ポストンつれづれ草
			井田 家基	53漁	近く開かれる主要水産国際会議について
			野城 貢	51漁	愛知県漁村開発研究会(構想案)について
599	1957.06.	無分類	神田 献二	45漁	南極航海より帰って
			松橋 鐵治郎	1 製大	重油類の漂着による漁業被害
			福田 博業	36養	産業廃水の諸問題
			秋山 実	10漁	漁撈40回 卒業生
598	1957.03.	無分類	徳久 三種	10養	漁場水質汚濁防止法の立法化運動の今昔
			福田 博業	36養	産業廃水の諸問題
			関根 隆	27養	大腸菌による汚染の諸問題
			町田 喜弘	45養	水質汚濁の研究に用いる諸方法 特に生物学的定量法の使い方
			藤谷 超	51増	瀬戸内海に於る水質汚濁の問題点についての私見
			倉掛 武雄	37養	愛知県下に於ける水質汚濁の現況
597	1957.01.	無分類	山浦 尚, 津村 孝三	47漁, 48漁	アルゼンチン廻航記録
			佐々木 忠義	特会	ヨーロッパ視察談
596	1956.10.	無分類	猪野 峻	38養	アラフラ海から帰って
			居城 力	40漁	中近東の旅
			岩崎 寿男	1 製大	波乱の年の北洋さけ・ます漁業をみて
			早乙女 忠国	1 伝	我が生涯を顧みて後進の奮起を望む
			中村 嘉寿	3 漁	世界を大観せよ楽水人
595	1956.07.	無分類	橘川 次郎	52増	イギリス便り
			村野 正昭	3 増大	ビキニ調査より帰って(俊鶴丸乗船記)
			河端 俊治	44製	再び放射能汚染海域を調査して
			永山 政行	42漁	Gypsy Wheel と錨鎖の噛み合いに就ての考察
			石山 礼蔵, 岡田 啓介	36養,	エイ類の年齢査定
			佐々木 幸康	40漁	はやぶさ丸のことども
595	1956.07.	無分類	石黒 康成	33漁	ヴェネズエラ共和国の水産事情
			中村 嘉寿	3 漁	鰻油漬と蟹罐詰の世界紹介記

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名			
595	1956.07.	無分類	秋山 俊一郎	19漁	最近の漁業問題			
594	1956.04.	無分類	浅井 正夫	38漁	東南アジアの水産事情			
			増田 辰良	52増	海鷹丸航海日誌			
			福田 博業	36養	スツボンの話			
			居城 力	40漁	サイゴンの漁業紀行			
593	1956.01.	無分類	矢板 開一	28養	セイロンの国の水産業 (2)			
			田口 喜三郎	37養	昭和30年度の北洋鮭鱒漁業			
			村松 満, 中村 彰利	国際水産株式会社, 国際罐詰株式会社	冷凍鮭罐詰の対米輸出の現況			
			久保 伊津男	36養	昭和30年度日本で行われた水産の国際会議			
			592	1955.07.	無分類	伊沢 義一郎, 中村 新七	33漁, 33製	アルゼンチンの水産業
						最首 光三	47養	壁にぶつかつた以西底魚資源調査
平山 栄男	38製	鮭, 鱒, 蟹缶詰輸出の現況と将来						
岡 伯明	34養	本年度の水産に関する国際会議						
川崎 博之	51増	漁獲統計からみた最近のマグロ延縄漁業						
河野 善美	50製	輸出ビタミンの展望						
591	1955.04.	無分類	松崎 秀雄	24製	秋刀魚罐詰			
			得田 典雄	32製	輸出冷凍品の展望			
			加藤 舜郎	31製	食用鮭とニジマスの冷凍輸出			
			飯高 雄之助	1 漁大	巾着網の起源と簡単歴史			
			山口 芳男	36漁	漁獲物の荷揚装置について			
			熊凝 武晴	28漁	母校の新練習船			
			590	1955.01.	無分類	眞道 重明	45養	鯛
						砂原 作治	24製	ぶり
木下 虎一郎	27養	北海道の昆布						
平野 義見	34養	数の子						
山本 祥吉	13製	田作						
田中 二良	1 増大	タコ						
久保 伊津男, 野中 忠	36養, 2 増大	イセエビの価格と景気						
田口 喜三郎	37養	日米加漁業条約の歩み						
589	1954.10.	無分類	三宅 昇	35養	ペルシヤ湾漁業資源			
			河端 俊治	44製	ビキニの調査を終えて			
			小西 信也	37漁	水産業の金融事情 (1)			
			山本 正三	37養	水産資源の現状と行政との関係			
			黒沼 勝造	33養	印度太平洋水産理事会第五回会議に提出された論文を紹介する			
588	1954.07.	無分類	中川 恣	36養	以東底曳の資源とその対策			
			黒田 竹弥	38養	内水面漁業の将来とその対策			
			外見 政治	51増	真珠養殖の新しい問題			
			久保 伊津男	36養	サバの漁獲高の経年変化			
			殖田 三郎	特会	海苔			
			稲葉 伝三郎	28養	淡水養殖に於ける移入種とその繁殖			
587	1954.04.	無分類	川上 太左英	35製	水産物の乾燥			
			野中 順三九	39製	魚油の油焼けについて			
			田中 和夫	44製	冷凍機械・設備—最近の動き			
			清水 亘	27製	煉製品の新傾向			
			井川 正二郎	35製	寒天工業の現況			
			松坂 安正	48製	冷凍食品			
			浜田 重行	33製	アメリカ食品界このごろ			
			永田 米作	28製	鮮魚の流通と輸送			
			鈴木 俊雄	44製	製罐業の諸問題			
			宇田 道隆	特会	水産海洋学の諸問題			
						水爆マグロ研究組織		
586	1954.01.	無分類	草間 秀俊	30漁	流体変速機 (Hydraulic torque Converter) を応用した鮭延縄用ラインホーラーについて			
			左近司 彰男	40漁	ベーリング海に於ける板曳を用いた蟹漁法			
			田口 喜三郎	37養	カムチャツカに於けるトロール漁業			
			福原 暁		高性能さんま棒受網の考案と其の効果			
			野村 俊造	41製	昭和27年度調査から見た鮭類の分布に就て			
			梨岡 寧	51増	ドレッジ小考			

掲載号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
586	1954.01.	無分類	佐々木 幸康	40漁	無線航法について
			熊凝 武晴	28漁	英国に於けるトロール船に関する文献抄録
			神田 献二, 小池 篤	45漁, 51漁	漁業に関する文献抄録
585	1953.10.	無分類	中山 琢三	18漁	巻頭言
			小出 勲男	32漁	鯉鮪漁業の将来に就いて
			里内 晋	25漁	以西底曳漁業に就いて
			内藤 一郎	52増	漁業経済調査の話
					私の見た楽水会
			木村 銀司	49製	楽水会費を収めて
			山田 栄次	34養	楽水会館建設を提唱す
金井 元	29漁	特異の漁村広田町			
584	1953.07.	無分類	木下 辰雄	12漁	巻頭言
			松生 義勝	16製	両陛下小湊実験場御視察の記
			新村 大三郎	34製	するめの話
			大西 英昭男	51漁	長棟輝友先生を偲ぶ
			土井 久之	26養	再び楽水会に訴える
583	1953.04.	無分類	加隅 良介	13製	巻頭言
			大坪 儀作	特会	米と魚
			中川 生		鮎に思ふ
			木下 虎一郎	27養	北海道の増殖
			土井 久之	26養	養殖と保険
			中川 生		「コイ」には「アイ」を
			中野 宗治	14養	水の資源の統合開発と人工門
			黒沼 勝造	33養	印度太平洋
			久保 伊津男	36養	母校便り増殖の巻
582	1953.01.	無分類	秋山 俊一郎	19漁	巻頭言
			中村 嘉壽	3 漁	世界水産の将来
			津田 利夫	43製	長崎県に於ける煮干イワシ
			矢吹 耀雄	43養	魚油と硬化油
			藤田 正	29養	広島湾に於ける牡蠣の異常斃死
581	1952.10.	無分類	江熊 哲翁	19養	巻頭言 沿岸漁業特集に寄せて
			浜谷 辰為	51漁	越中の鱒網
			石田 誠	46漁	秋田県の小型底曳の減船整理について
			藤田 正	29養	牡蠣採苗時期の予知法牡蠣の種見
			山本 忠	40養	東南アジアの水産トピックと海外楽水会便り
580	1952.07.	無分類	山田 勝衛	17漁	巻頭言
			清 藤太郎	15漁	講和後の日本漁業の進路について
			田口 喜三郎	37養	本年度の北洋鮭鱒漁業
579	1952.05.	無分類	深山 義道	14製	巻頭言
			田中 和夫	44製	欧州の冷凍事情
			中川 恣	36養	漁業制度 改革に思う
578	1952.01.	無分類	木下 辰雄	12漁	巻頭言
			渡瀬 節雄	48漁	鯨と標識鮫
			田口 喜三郎	37養	漁業会議を覗くの記
577	1951.10.	無分類	鍋島 熊道	7 製	巻頭言
			相愛 生		講和後の日本海洋漁業の在方
576	1951.07.	無分類	村山 敏三	16漁	巻頭言
			木下 辰雄	12漁	楽水会の活動
575	1951.04.	無分類	田中 耕之助	14漁	巻頭言
			田口 長治郎	17養	水産と政治
			酒井 一男	45漁	わが経済の苦心を語る 沿岸漁村の立場
			砂原 春紀	31製	わが経済の苦心を語る 引揚者の場合
574	1951.01.	無分類	木下 辰雄	12漁	楽水会の回顧(巻頭言)
			黒沼 勝造	33養	三ヶ月米国旅行日記物語
			飯塚 勝	33漁専	母船式まぐろ海幸丸船団のことども
			上田 哲夫	33漁	漁業経営規模
573	1950.09.	無分類	家坂 孝平	18漁	重責を引受けて
			黒田 竹弥	38養	横から見た水産業
			酒井 吞水		健康と食生活
572	1950.05.	無分類	高崎 達之助	9 製	国際的視野と水産研究の問題(巻頭言)
			川名 武	25養	農学賞の木下博士

掲載号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
572	1950.05.	無分類	田中 道知	27漁	当面せる漁業問題
571	1950.02.	無分類	飯山 太平	16漁	巻頭言
			山田 栄次	34養	1950年の進路
			山本 忠	40養	水産資源と楽水会員の歩み
570	1949.12.	無分類	杉浦 保吉	9 漁	巻頭言
			柴原 多聞	36漁	漁区拡張について
			澤田 正順	28製	最近の缶詰界事情
			小熊 辰雄	41養	新しい出発点と水産技術の視向
569	1949.09.	無分類	魚 介入		楽水漫語
			藤田 正	29養	草津雑話 (1)
			福田 博業	36養	「楽水にのぞみたいこと」
568	1949.08.	無分類	鍋島 徳道	7 製	全会員にお願い
			竹田 繁夫, 紅	32漁, 38製	天皇陛下拝謁の記
			林 浩		
			山本 清内	17遠	科学者天皇をお迎えして
567	1949.07.	無分類	木下 辰雄	12漁	「楽水」復刊の挨拶
			松生 義勝	16製	東京水産大学の發足
			杉浦 保吉	9 漁	楽水の発刊を聴いて
			山田 栄次	34養	教育と日本の再建
			佳山 漁夫		願望
			相愛 生		死亡通知を自分で書き度いと悲願も今は夢
			荻原 茂	16製	母校後援会の報告
			酒井 吞水		感想



ところ会計

日本一楽しい会計事務所です





情熱と真心を込めた仕事を通じて、
お客様の御満足を励みに日本一の楽しいプロ集団を目指します。

大学25回卒 公認会計士
税 理 士 所 英 樹

(株)ところ会計事務所
105-0004 東京都港区新橋3-26-3 会計ビル9F(JR新橋駅ゆりかもめ方面)
TEL (03) 3571-2616(代) FAX (03) 3571-2624
<http://www.tokoro-acc.jp>